

事業評価シート一覧

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
2060010	1	パブリックコメント手続実施事業	市民協働推進政策課
2060020	1	女性センター運営管理	男女共生・生涯学習推進課
2060020	2	男女共同参画推進事業	男女共生・生涯学習推進課
2060020	3	女性活躍推進事業	男女共生・生涯学習推進課
2060020	4	つながりサポート型支援事業	男女共生・生涯学習推進課
2060020	5	生涯学習「長良川大学」	男女共生・生涯学習推進課
2060020	6	コミュニティセンター運営管理	男女共生・生涯学習推進課
2060020	7	柳津地区学習等供用施設運営管理	男女共生・生涯学習推進課
2060020	8	生涯学習センター運営管理	男女共生・生涯学習推進課
2060020	9	柳津生涯学習センター運営管理	男女共生・生涯学習推進課
2060020	10	平和の鐘事業	男女共生・生涯学習推進課
2060020	11	平和資料展	男女共生・生涯学習推進課
2060020	12	岐阜市平和啓発推進補助金	男女共生・生涯学習推進課
2060030	1	岐阜版アダプト・プログラム事業	市民活動交流センター
2060030	2	市民活動支援事業	市民活動交流センター
2060030	3	地域力創生事業	市民活動交流センター
2060030	4	市民活動情報収集提供事業	市民活動交流センター
2060030	5	地域まちづくりビジョン策定支援	市民活動交流センター
2060030	6	NPO法人等応援事業	市民活動交流センター
2060030	7	自治会広報板設置補助・広報板撤去及び修繕事業	市民活動交流センター
2060030	8	岐阜市自治会連絡協議会運営費補助金	市民活動交流センター
2060030	9	岐阜市自治会連合会運営費補助金	市民活動交流センター
2060030	10	住民自治推進大会	市民活動交流センター
2060030	11	岐阜県公民館連合会負担金	市民活動交流センター
2060030	12	公民館建設及び維持補修工事	市民活動交流センター

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
2060030	13	地区公民館運営管理	市民活動交流センター
2060030	14	自治公民館助成	市民活動交流センター
2060030	15	まちづくりサポートセンター負担金	市民活動交流センター
2060030	16	地域コミュニティDX推進	市民活動交流センター
2060040	1	市民相談業務	市民相談室
2060040	2	「市長への手紙」事業	市民相談室
2060050	1	人権教育・啓発推進	人権啓発センター
2060050	2	同和教育啓発推進団体事業補助	人権啓発センター
2060050	3	施設管理運営	人権啓発センター
2060080	1	シビックプライド事業	ぎふメディアコスモス事業課
2060080	2	みんなの森 ぎふメディアコスモスの季刊紙発行	ぎふメディアコスモス事業課
2060080	3	メディコス「文化の広場」交流事業	ぎふメディアコスモス事業課
2060090	1	図書館利用推進事業	図書館
2060090	2	読書活動推進事業補助金	図書館
2060090	3	コミセン巡回図書館	図書館
2060090	4	乳幼児読み聞かせ事業	図書館
2060090	5	ビジネス支援事業	図書館
2060090	6	文学と歴史・物語のまち「岐阜」(旧:文学のまち「岐阜」)	図書館
2060090	7	みんなの図書館おとなの夜学	図書館
2060090	8	子ども司書育成	図書館
2060090	9	子どもラジオ放送	図書館
2060090	10	作家と語ろうin岐阜(旧著者に会いたい)事業	図書館
2060090	11	図書館発!まちづくり事業	図書館
2060090	12	本de子育てカフェ	図書館
2060090	13	はじめての図書館事業	図書館

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060010 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	パブリックコメント手続実施事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民協働推進政策課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	16	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市住民自治基本条例 協働のまちづくり推進計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市の意思決定過程における公正性の確保、透明性の向上を図ること 協働のまちづくりの推進に資すること					
内容 (手段・手法など)	市の基本的な政策策定にあたり、その案の趣旨、内容等を実施機関が公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見の概要及び当該意見に対する市の考え方を公表するとともに、提出された意見を参考にして意思決定を行う。					
事業の 対象	何を	情報公開と意見提出機会の保障				
	誰に	市民等( 市内に住所を有する者 市内に事務所又は事業所を有する個人及び法人その他の団体 市内に存する事務所又は事業所に勤務する者 市内に存する学校に在学する者 パブリックコメント手続に係る事案に利害関係を有するもの)				
	どのくらい	岐阜市の主要計画・施策及び市民に直接影響を与える事業に関して				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	775	24	763	24	773	24
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	775	24	763	24	773	24

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	0	0

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	775	763	773

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	775	763	773

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	全市民	全市民	全市民
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	パブリックコメント手続実施主任者説明会の開催		
	単位	回	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市民意識調査において「市政へ参画しやすいまちだ」と回答した人の割合		
	単位	%	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	30%以上	30%以上	30%以上
実績値	17.9	12.1	11.8
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	より良い政策立案のために、広く市民の意見を聴くことが求められている。 市の主要計画・施策及び市民に直接影響を与える事業に関して、市民からの意見を聴く手法であるため、市が実施すべきである。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	最小限の経費で効率的に実施している。 市の主要計画・施策及び市民に直接影響を与える事業に関して、市民からの意見を聴く手法であるため、市が実施すべきである。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	寄せられた意見については、各部の主要計画・施策及び市民に直接影響を与える事業に生かされている。しかし、案件によっては寄せられる意見数が少ないものもある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	広報ぎふ、市ホームページ、市公式SNS、窓口、各コミュニティセンター等、市民に対し広く周知している。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	これまでも、より多くの意見が寄せられるよう、意見提出手続きのさらなる利便性向上を進めるため、意見募集の際、市ホームページから直接意見を送信できる「意見提出フォーム」の導入を必須とし、「意見提出フォーム」運用を変更し、市ホームページのトップページ「岐阜市オンライン申請総合窓口サイト」から提出可能にするなど改善を図ってきたところである。今後も、市の主要計画・施策及び市民に直接影響を与える事業に関して、市民からの意見を聴くことは重要であることから、現状維持とする。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	女性センター運営管理					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団	
開始・終了年度	平成	13	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市/生涯学習/女性/センター条例、 岐阜市男女共同参画推進条例	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	性別に関わらず一人ひとりが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の形成は重要な課題である。男女共同参画について市民にわかりやすく発信し、また市民による主体的な活動を支援・促進するため、講座・イベント等の学習機会の提供、市民の交流の場づくり、相談対応などの多様な事業を、拠点施設において展開する。					
内容 (手段・手法など)	ハートフルスクエアG内に女性センターを設置。男女共同参画推進の拠点として、学習・情報・交流・相談の4つの機能を持ち、男女共同参画に関する講座の開催、情報の収集と提供、市民・団体同士の交流の促進、フェスティバルの開催、女性の悩みごと相談など多様な事業を展開しつつ、市民の誰もが気軽に利用できる施設として活用。					
事業の 対象	何を	女性の自立及び男女共同参画、並びに性別に起因する人権侵害等に係る相談対応や意識啓発、市民の主体的な活動への支援				
	誰に	女性の自立や男女共同参画に関心を持つ市民をはじめ、より広い範囲でより多くの人々(事業者等を含む)を対象				
	どのくらい	女性の自立や男女共同参画の重要性が社会的に認められ、固定的な性別役割分担意識が解消されるまで				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,292	40	1,272	40	2,576	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,292	40	1,272	40	2,576	80

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	指定管理料	26,150	27,121	25,828
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		26,150	27,121	25,828

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	27,442	28,393	28,404

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	27,442	28,393	28,404

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	事業参加者	事業参加者	事業参加者
受益者数	4,546	3,604	4,921
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,037	7,878	5,772

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	女性センター講座・事業開催数		単位	事業数
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	25	30		30
実績値	18	25		24

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	事業に参加し、男女共同参画について理解する人の割合		単位	%
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	100	100		90
実績値	73	89		84
達成状況	× (未達成)	× (未達成)		× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	女性を取り巻く環境の変化に対応するため、女性の社会参画や女性 の人権など女性視点の男女共同参画事業を積極的に展開。女性活躍 を必要としている潮流からも男女共同参画拠点施設は必要である。 男女共同参画社会基本法に地方公共団体の責務が明記されているこ とからも、市が実施していく必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	利用者負担をとっていないが、啓発、教育の観点から適当と考える。 一部を市民協働・民間活用していく方法は効率的と考えられることか らも、協働事業で行えるものは行っていく。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	事業参加者の満足度が高く、また、事業参加者がその成果を生かした 取り組みを進めていることから一定の効果は得られていると考える。 また、女性活躍推進法、政府の女性活躍に関する基本方針に基づき、 女性活躍に資する取組をさらに充実することが求められている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	啓発・理解促進は受講者のみではなく、受講者がその周りにも広めて もらうという波及効果も期待し、利用者負担なしは妥当と考える。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	女性センターは、女性の自立や男女共同参画社会を実現するための 事業を展開する拠点として、また、社会が求める女性活躍に資する取 組を進める拠点として、より高い効果を発現できるよう実施方法を工 夫しながら、継続する。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	男女共同参画推進事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	14	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市男女共同参画推進条例、 第3次岐阜市男女共同参画基本計画(改定版)	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟など社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は緊要な課題であり、市において、男女共同参画の推進に取り組む。					
内容 (手段・手法など)	男女共同参画を推進するための啓発や、第3次岐阜市男女共同参画基本計画(改定版)の進捗状況調査・管理をはじめ、男女共同参画推進審議会、庁内推進会議、関係団体との意見交換等の実施。					
事業の 対象	何を	男女共同参画の考え方や必要性の理解促進				
	誰に	全市民、事業者(特に若年層をターゲット)				
	どのくらい	主体的な取り組みを促す				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,938	60	1,908	60	1,932	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,938	60	1,908	60	1,932	60

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	若年層向け啓発誌	253	102	128
	庁内向け研修	61	0	50
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		439	114	179

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,377	2,022	2,111

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,377	2,022	2,111

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	啓発誌を配布した人数	啓発誌を配布した人数	啓発誌を配布した人数
受益者数	5,500	900	1,300
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	432	2,247	1,624

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	啓発誌配布数、庁内研修参加者数		単位	部 人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	5,500 230	900 230	1,300 230	
実績値	5,500 210	900 220	1,300 230	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	誰もが活躍できる社会が重要と意識した生徒の割合、市職員管理職の女性割合		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	100 20	100 20	100 20	
実績値	98 18.6	99 19.4	98 19.5	
達成状況	× (未達成)		× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	男女共同参画社会の実現のためには、基本計画に則りさまざまな施策を実施することが必要である。 男女共同参画社会基本法に地方公共団体の責務が明記されていることから、市がきめ細やかに実施していく必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民・事業者へ広く啓発するための方法を工夫していく必要がある。 一部を市民協働・民間活用していく方法は効率的と考えられることから、協働事業で行えるものは行っていく。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	根強い性別役割分担意識を改革するには、その意識づけが可能な若年層に働きかけていくことが重要。授業後アンケートを見ると、社会が作り上げてきたジェンダーに気付き、自分らしさが大切なことを理解した生徒がいることから一定の効果はある。将来を見据え、より効果が得られるよう工夫することは必要。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	啓発・理解促進は生徒のみではなく、保護者へも伝わっていくという波及効果も期待し、受益者負担なしは妥当と考える。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	男女共同参画社会を実現するため、第3次基本計画に掲げた施策・事業について、より高い効果を発現できるよう実施方法等を工夫しながら、きめ細やかに展開する。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	女性活躍推進事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	28	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市男女共同参画推進条例、 第3次岐阜市男女共同参画基本計画(改定版)	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するため、市において女性活躍推進のための事業に取り組む。					
内容 (手段・手法など)	女性が活躍できるよう、ワーク・ライフ・バランス、男女がともに働きやすい環境の事業者を拡大していくための男女共同参画優良事業者表彰事業、ぎふし共育・女性活躍企業認定事業					
事業の 対象	何を	女性の活躍推進に向けた意識啓発と理解促進				
	誰に	全市民・事業者				
	どのくらい	働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる環境が創出されるまで				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,460	200	3,816	120	5,796	180
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,460	200	3,816	120	5,796	180

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	優良事業者/認定企業	449	199	485
	女性の就労支援	1,018	2,793	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,467	3,408	485

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,927	7,224	6,281

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	508	1,014	203
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	508	1,014	203

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,419	6,210	6,078

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者			
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	企業認定・優良事業者の表彰式		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	認定企業、優良事業者		単位	事業者数
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	86 47	90 55	105 57	
実績値	94 54	125 55	131 56	
達成状況	(達成)	(達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	女性が職業を持ち続けていく上での課題は、男性中心型労働形態が 根強いことが市民意識調査から分かった。「働き方改革」と併せた「男 性の家庭参画」が必要。 意識啓発は行政が行う施策であり、女性の活躍を推進していくために は、市が行うべきものと思われる。なお、事業者向けの取り組みは岐阜 県や近隣市町村との連携も効果的と考える。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民・事業者へ広く啓発するための方法を工夫していく必要がある。 一部を市民協働・民間活用していく方法は効率的と考えられることから も、協働事業で行えるものは行っていく。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	優良事業者へのアンケートからも、表彰されたことで社員の意識が高ま り、就職希望者が増えたなどといった回答を得られ、一定の効果があ ると考えられる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	意識啓発や理解促進は、受益者周辺へも広めてもらう効果も期待し、 受益者負担なしは妥当である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	女性が職業を持ち続けていくためには、一人一人の意識改革はもちろん んのこと、事業主側の意識改革や環境整備も必要であり、それには広 域で啓発することも効果的と考えられるため、岐阜県や近隣市町村と の連携を視野に入れながら、事業展開を図る。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 004

## 【1.基本情報】

事業名	つながりサポート型支援事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市男女共同参画推進条例、 第3次岐阜市男女共同参画基本計画(改定版)	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	コロナ禍において、生活や仕事、子育てや介護に関する女性の困難や不安が深刻な状況となったが、顕在化・表面化してきていない問題等があると考えられた。そこで、孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、NPO等の知見を活用し、居場所の提供、個別相談等、きめ細かな支援を行う。あわせて、こうした女性を支援するNPO等によるネットワークを形成し、本事業が終了した後も、継続して支援できる仕組みを構築する。					
内容 (手段・手法など)	(1)女性の居場所づくり (2)支援が必要な女性(要支援者)への個別支援 (3)本業の周知 (4)つながりサポート型女性支援ネットワークの形成					
事業の対象	何を	女性の居場所づくり、個別相談、心理カウンセリング、NPO等による緊急雇用				
	誰に	コロナ禍において、生活や仕事、子育てや介護に関する困難や不安を抱える女性				
	どのくらい	孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるようになるまで				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	7,106	220	3,180	100	6,440	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	7,106	220	3,180	100	6,440	200

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		17,589	15,461	15,478
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	17,589	15,461	15,478
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		17,589	15,461	15,478

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	24,695	18,641	21,918

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	10,473	10,578	11,138
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	6,933	0	0
計(F)	17,406	10,578	11,138

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,289	8,063	10,780

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	居場所に訪問した人	居場所に訪問した人	居場所に訪問した人
受益者数	1,801	2,983	2,891
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,047	2,703	3,729

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	居場所の開催日			単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	320	374	413		
実績値	320	410	413		

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	NPO等が連携し相談支援を行った件数			単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	30	30	25		
実績値	21	54	54		
達成状況	× (未達成)	(達成)	(達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	困難や不安を抱える女性が社会とのつながりを回復するためには、基本計画に則りさまざまな施策を実施することが必要である。 女性の課題に取り組むNPO等が対応する要支援者との対応情報を共有しながら、各団体及び岐阜市との包括的な連携を構築し、より効果的な事業推進につなげる。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	利用者負担をとっていないが、女性の様々な悩みに幅広く対応し居場所を創る観点から適当と考える。 一部を市民協働しているが、全てを行うことは難しいと考える。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	利用者アンケートからも実施事業に対する満足度が高く、また、継続して支援できる仕組みを構築することにより様々な問題に対して幅広く対応できると考えられる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	啓発・理解促進は利用者のみではなく、利用者がその周りにも広めてもらうという波及効果も期待し、利用者負担なしは妥当である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	コロナ禍において顕在化した社会から孤立する女性の居場所としての役割を果たし、相談内容を傾聴し、様々な問題に対して、それぞれの活動分野の支援団体と連携したことにより女性の悩みに幅広く対応できたため、継続する。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	生涯学習「長良川大学」					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	8	年度～	年度	根拠法令・関連計画	第3次生涯学習基本計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民が生涯学習で得た知識を主体的に地域に還元することにより、活力ある地域社会の実現を目指す。					
内容 (手段・手法など)	各種講座・教室などを生涯学習「長良川大学」として、ライフステージに応じて体系化し、「長良川大学ガイドブック」等で情報提供する。独自の単位認証制度があり、一定数の単位ごとに認定証(賞讃状)を、学長(市長)から認定者に授与する。					
事業の 対象	何を	学習の機会及び情報の提供				
	誰に	市民				
	どのくらい	より多く				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	岐阜市公式ホームページにページリンク機能追加					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,783	210	6,678	210	6,762	210
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,783	210	6,678	210	6,762	210

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	長良川大学ガイドブック作成	810	1,625	866
	まなびすと手帳作成	0	616	0
	講演会	0	100	100
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,105	2,377	973

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,888	9,055	7,735

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,888	9,055	7,735

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	長良川大学の講座を受講する人	長良川大学の講座を受講する人	長良川大学の講座を受講する人
受益者数	45,444	66,326	89,157
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	174	137	87

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	長良川大学受講者数			単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	125,000	125,000	125,000		125,000
実績値	45,444	66,326	89,157		89,157

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	日々の生活の中で何らかの生涯学習(文化・芸術・スポーツ・ボランティア活動・社会人講座受講など)に取り組んでいる人の割合(市民意識調査)			単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	40	40	40		40
実績値	32.3	23.6	25.2		25.2
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	例年は延べ10万人以上の方が受講しており、岐阜市においての生涯学習の主たる事業の1つである。 市民に対する生涯学習の推進は、市が進めるべき、担うべき部分である。(民間ではできない部分・営利では動けない部分) 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	例年は延べ10万人以上の方が受講しているが、生涯学習「長良川大学」の認知度は低い(まったく知らない割合:53.1%、H28岐阜市民の「生涯学習」を進めるためのアンケート)。 一部は民間への委託や市民との協働で実施することも可能であるが、庁内や対外的な調整においては市が行うことが効率的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	生涯学習に取り組んでいる人の割合が、大きな低下を示してはいないため、一定の効果はある。市独自の単位認証制度を取り入れており、毎年30~50名程度の方に単位証(賞讃状)を授与している。講座を受けられた人の「学び」を生かす場の提供には至っていない。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	各講座等は、それぞれ受講者から必要な費用を徴収している。
<b>【総合評価】</b> ・拡充:目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持: 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善:目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止:実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	例年は1,000以上の講座、10万人以上の受講者があり(R2以降はコロナ禍で減少)、有効な事業である。受講者の「学び」を生かせる形へのブラッシュアップを進め、市が行う「生涯学習」のソフト的な基幹事業として引き続き本事業の周知に努める。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 006

## 【1.基本情報】

事業名	コミュニティセンター運営管理					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	各コミュニティセンター運営委員会 (8団体・地元自治会中心)	
開始・終了年度	昭和	57	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市コミュニティセンター条例・施行規則

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与するために設置されたコミュニティセンターの適切な運営管理を行う					
内容 (手段・手法など)	施設の管理に関する業務、使用の許可及び制限に関する業務、地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進に関する業務、その他、センターの管理上又は設置の目的を達成するために市長が必要と認める業務					
事業の 対象	何を	適正な運営・管理				
	誰に	利用者				
	どのくらい	指定管理料の範囲				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,690	300	9,540	300	9,660	300
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,690	300	9,540	300	9,660	300

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	指定管理料	153,437	152,978	154,237
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		153,437	152,978	154,237

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	163,127	162,518	163,897

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	163,127	162,518	163,897

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	コミュニティセンター利用者数	コミュニティセンター利用者数	コミュニティセンター利用者数
受益者数	335,912	440,777	464,322
受益者負担額(千円)	13,285	19,649	19,112
受益者負担率(%)	8.1%	12.1%	11.7%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	486	369	353

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	コミュニティセンター登録サークル数(8館)		単位	サークル
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	410	410	410	
実績値	356	344	330	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	余暇に何らかの生涯学習(文化・芸術・スポーツ・ボランティア活動など)に取り組んでいる人の割合(市民意識調査)		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	40	40	40	
実績値	32.3	23.6	25.2	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか 【1】【2】から	高	地域の生涯学習の拠点であり、例年は年間約45万人の利用者がある。サークル活動や市民活動などの拠点としても活用され、必要性は高い。 施設の設置は、市が行うべきことであり、管理運営は指定管理で地域に委ねている。 市内では生涯学習センター運営管理、学習等供用施設運営管理、柳津生涯学習センター運営管理という類似事業がある。コミュニティセンターは各地域にあり、その地域の拠点であるため、統廃合は難しい。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設の管理上、必要な経費を積算したうえ、指定管理料を算出しているため、適正な事業費で運営されている。 地域住民の利用を主対象としており、市及び地域による指定管理者で行うことが適正である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	地域の生涯学習活動及び市民活動の拠点として大いに活用されている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	利用者からは、施設使用料を徴収しており、受益者負担に関しては、適正なものである。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	年間利用者は約45万人(8館)で、地域の生涯学習及び市民活動の拠点として、地域に活用されている。また、地域の運営委員会による指定管理で運営管理されている。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 007

## 【1.基本情報】

事業名	柳津地区学習等供用施設運営管理					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	各会館管理運営委員会 (7団体・地元自治会中心)	
開始・終了年度	平成	3	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市柳津地区学習等供用施設条例・施行規則

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域住民の連帯意識を高め、学習、保育、休養及び集会の用に供し、健康で文化的な近隣社会の構築とその発展に寄与するために設置された柳津地区学習等供用施設の適正な運営管理を行う。					
内容 (手段・手法など)	施設の管理に関する業務、地域の生涯学習に関する業務、その他、会館の管理上又は設置の目的を達成するため市長が必要と認める業務					
事業の 対象	何を	適正な運営・管理				
	誰に	利用者				
	どのくらい	指定管理料の範囲				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,261	70	2,226	70	2,254	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,261	70	2,226	70	2,254	70

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	指定管理料	6,603	3,713	5,198
	工事費	0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		10,512	7,930	9,336

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	12,773	10,156	11,590

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	12,773	10,156	11,590

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	柳津地区学習等供用施設利用者	柳津地区学習等供用施設利用者	柳津地区学習等供用施設利用者
受益者数	7,448	10,308	16,597
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,715	985	698

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	柳津地区学習等供用施設利用者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	30,000	30,000	30,000	
実績値	7,448	10,308	16,597	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	余暇に何らかの生涯学習(文化・芸術・スポーツ・ボランティア活動など)に取り組んでいる人の割合(市民意識調査)		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	40	40	40	
実績値	32.3	23.6	25.2	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	低	柳津地区以外の地域にはない施設であり、全市的にみると施設数の バランスは取れていない。 現在は地域で組織した委員会による指定管理で運営している。利用が 一部の地域に限定されているため、市全域で利用できる体制づくりを 検討していくことは必要。 柳津地区には、他にも「柳津生涯学習センター」や「もえぎの里生涯学 習センター」があり、生涯学習施設数が多い。あり方検討中。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	利用状況は、地域住民の利用にとどまっている。 指定管理により必要最小限の費用で運営しているが、稼働率は低いま まである。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	低	例年の利用者数は約2万人/7館、稼働率は約15%であり、市内の他 の生涯学習施設と比較すると、その規模や機能の違いを考慮しても、 利用者数が少ない。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	低	合併以前から使用料を徴収しておらず、他の生涯学習施設は使用料 を徴収していることから、全市的な観点からみると公平性が担保されて いるとは言えない。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	改善	施設の有効性、公平性に課題があることから、生涯学習施設として、施 設の利用状況やその役割を検証し、施設のあるべき姿について、「各 部で検討を進める課題」として検討する。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 008

## 【1.基本情報】

事業名	生涯学習センター運営管理					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		実施主体	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団	
開始・終了年度	平成	13	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市生涯学習・女性センター条例・施行規則

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の生涯学習を推進するために設置された生涯学習センターの適切な運営管理を行う。					
内容 (手段・手法など)	施設の管理に関する業務、使用許可及び制限に関する業務、使用料の徴収及び減免に関する業務、センター事業の実施に関する業務					
事業の 対象	何を	適正な運営・管理				
	誰に	利用者				
	どのくらい	指定管理料の範囲				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,690	300	9,540	300	9,660	300
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,690	300	9,540	300	9,660	300

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	指定管理料	180,972	193,550	191,721
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		180,972	193,550	191,721

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	190,662	203,090	201,381

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	190,662	203,090	201,381

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	ハートフルスクエア-G利用者	ハートフルスクエア-G利用者	ハートフルスクエア-G利用者
受益者数	281,358	419,774	520,459
受益者負担額(千円)	8,655	12,437	14,357
受益者負担率(%)	4.5%	6.1%	7.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	678	484	387

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	生涯学習センター利用者数			単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	210,000	210,000	210,000		210,000
実績値	65,533	109,984	132,869		132,869

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	日々の生活の中で何らかの生涯学習(文化・芸術・スポーツ・ボランティア活動・社会人講座受講など)に取り組んでいる人の割合(市民意識調査)			単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	40	40	40		40
実績値	32.3	23.6	25.2		25.2
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	生涯学習の拠点であり、例年は年間約20万人の利用者がいる。講座への評価も高く、必要性は高い。 施設の設置は、市が行うべきものであり、管理運営は指定管理者に委ねている。 地域が管理する他の生涯学習施設(コミセン)とは異なるため統廃合はできない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設の管理上、必要な経費を積算したうえ、指定管理料を算出しているため、適正な事業費で運営されている。 指定管理者(非公募:外郭団体)に委託している。公募・非公募の検討・協議は必要であるが、ノウハウを持つ指定管理者で行うことは効率的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	例年は年間約20万人の利用者がおり、稼働率(日毎)も85%超で有効に利用されている。施設としての認知度も70パーセント(H28アンケート)を超えている。 (R5年度は、利用者約13.3万人、稼働率73%)
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	施設利用料、講座受講料、駐車場使用料等を受益者から徴収しており、適正なものである。
<b>【総合評価】</b> ・拡充:目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持: 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善:目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止:実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	例年の稼働率が85%超と高く、年間利用者が約20万人ある。本市の生涯学習の拠点として、必要な施設である。 (R5年度は、利用者約13.3万人、稼働率73%)

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 009

## 【1.基本情報】

事業名	柳津生涯学習センター運営管理					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	58	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市柳津生涯学習センター条例・施行規則

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の生涯学習の推進を図るために設置された柳津生涯学習センターを適正に運営管理する。					
内容 (手段・手法など)	施設の管理に関する業務、使用許可及び制限に関する業務、使用料の徴収及び減免に関する業務、センター事業の実施に関する業務					
事業の 対象	何を	適正な運営管理				
	誰に	利用者				
	どのくらい	公平・公正に				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	323	10	318	10	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	3,605	350	3,535	350	3,535	350
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,928	360	3,853	360	3,857	360

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	施設管理委託	5,273	5,430	5,732
	光熱水費	1,887	2,416	1,932
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		17,260	19,531	21,022

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	21,188	23,384	24,879

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	21,188	23,384	24,879

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	柳津生涯学習センター(2施設)利用者	柳津生涯学習センター(2施設)利用者	柳津生涯学習センター(2施設)利用者
受益者数	4,934	6,182	7,026
受益者負担額(千円)	535	710	645
受益者負担率(%)	2.5%	3.0%	2.6%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	4,294	3,783	3,541

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	柳津生涯学習センター(2施設)利用者			単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	30,000	30,000	30,000		30,000
実績値	4,934	6,182	7,026		7,026

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	日々の生活の中で何らかの生涯学習(文化・芸術・スポーツ・ボランティア活動・社会人講座受講など)に取り組んでいる人の割合			単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	40	40	40		40
実績値	32.3	23.6	25.2		25.2
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	柳津地区以外の地域にはない規模の施設であり、全市的にみると施設のバランスは取れていない。 指定管理者で管理運営する選択肢もあるが、当センターの一部が生涯学習以外の空間として活用されており、生涯学習施設としての機能が果たせていない状況であり、難しい。 市内では生涯学習センター・コミュニティセンター運営管理、柳津地区では学習等供用施設(以下「学供」)運営管理という類似事業がある。現在、学供のあり方検討中。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	低	他の類似する施設と比較し、利用者が多いとは言えない状況である。 指定管理者で管理運営する選択肢もあるなかで、施設の規模としてはコミュニティセンターに近いため、地域(=指定管理者)も選択肢となる。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	一定の利用は、なされている状況であるが、施設の認知度(20パーセント以下)は低い。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	使用料を徴収し、受益者からの負担は得ており、概ね適正である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	R5年度は約7千人、例年の利用者は2万人程度(2館)にとどまっている。また、当センターの一部が生涯学習以外の空間として活用されており、生涯学習施設としての役割からみると課題がある。これらを踏まえた検討は必要である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 010

## 【1.基本情報】

事業名	平和の鐘事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	2	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	戦争の悲惨さを後世に伝え、平和の尊さを啓発する	
内容 (手段・手法など)	毎年7月9日の岐阜空襲があった日に平和の鐘を鳴らし、平和の尊さを考える	
事業の 対象	何を	平和の大切さ
	誰に	全市民
	どのくらい	平和都市宣言の願いが実現し、続くまで
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,292	40	1,272	40	1,288	40
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,292	40	1,272	40	1,288	40

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		421	374	338
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	平和の鐘	421	374	338
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		421	374	338

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,713	1,646	1,626

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,713	1,646	1,626

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	式典来場者数	式典来場者数	式典来場者数
受益者数	130	130	139
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,177	12,662	11,698

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	マスコミ(新聞)に取り上げられた件数		単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	5	5	5	
実績値	7	4	4	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	平和への思い(折り鶴)の数		単位	羽
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	100,000	100,000	100,000	
実績値	124,224	146,132	161,706	
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	平和啓発において、基礎自治体としての役割を果たす事業である。 岐阜空襲の惨禍を後世に語り継ぎ、子どもたちをはじめ多くの市民に 平和の尊さを啓発する取り組みである。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	本市の平和啓発の象徴的な事業として、低額の予算で実施している。 市内の寺院や教会等が同日に打鐘しており、平和を祈念する取り組み として広がりを見せている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	平成2年から30年以上にわたり開催されている事業である。 中学生が参加しており、平和の尊さを戦争の悲惨さ、残酷さを後世及 び若い世代に伝える有効な事業である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	広く市民に啓発する事業であり、受益者負担を求める性格の事業では ない。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	平和啓発の1つの事業として、30年以上の歴史を持ち(平成2年開 始)、岐阜空襲の惨禍を後世に語り継ぎ、多くの市民に平和の尊さを 啓発する本市の平和のシンボリックイベントとなっている。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 011

## 【1.基本情報】

事業名	平和資料展					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	13	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	戦争の悲惨さを後世に伝え、平和の尊さを啓発する					
内容 (手段・手法など)	平和資料室での資料展示、ぎふメディアコスモス等でのパネル展の開催					
事業の 対象	何を	平和の大切さ				
	誰に	全市民				
	どのくらい	平和都市宣言の願いが実現し、続くまで				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	特別展委託料	209	248	242
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		209	248	242

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,178	1,202	1,208

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,178	1,202	1,208

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	資料展来場者数	資料展来場者数	資料展来場者数
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	資料展アンケート回答者数		単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	300	300	300	
実績値	203	155	148	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	平和への思い(折り鶴)の数		単位	羽
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	100,000	100,000	100,000	
実績値	124,224	146,132	161,706	
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	平和啓発において、基礎自治体としての役割を果たす事業である。 岐阜空襲に関する次世代への継承は、本市で行う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	本市の平和啓発の象徴的な事業として、低額の予算で実施している。 平和資料展は、平和に関する市民団体に協力をいただいている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	平和の尊さを戦争の悲惨さ、残酷さを後世及び若い世代に伝え、引き継ぐことが目的であり、その目的に資する事業としては、有効である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	広く市民に啓発する事業であり、受益者負担を求める性格の事業ではない。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	平和という広く普遍的なテーマの事業であり、また、岐阜空襲の記録を次世代へ継承する事業であることから、必要な改善を図りながら継続していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060020 \_ 012

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市平和啓発推進補助金					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	男女共生・生涯学習推進課		
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	原水爆禁止岐阜県協議会
開始・終了年度	昭和	55	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	世界と未来に向かって持続可能な多文化共生型の地域社会や活力あるひとづくりの実現」を根幹で支える「恒久的な世界平和や核兵器廃絶に関する市民意識の高揚」を図る。					
内容 (手段・手法など)	世界平和や核兵器廃絶等の実現を目的とする会議への参加や地域社会における平和的活動等の諸事業等を支援するとともに、当該事業者の自主自立性の高揚を図る。					
事業の対象	何を	運営費補助金				
	誰に	原水爆禁止岐阜県協議会				
	どのくらい	予算の範囲内				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	162	5	159	5	161	5
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	162	5	159	5	161	5

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		50	50	50
	直接事業費の 主な内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	50	50	50
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)	
	0	0	0	
計(D)=B+C	50	50	50	

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	212	209	211

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	212	209	211

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	原水爆禁止岐阜県協議会	原水爆禁止岐阜県協議会	原水爆禁止岐阜県協議会
受益者数	1	1	1
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	211,500	209,000	211,000

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	総事業費に占める補助金の割合		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	3.6	3.6	3.6	3.6
実績値	3.4	4.0	4.0	1.5

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	平和への思い(折り鶴)の数		単位	羽
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	100,000	100,000	100,000	100,000
実績値	124,224	146,132	146,132	161,706
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	平和を目指し活動する団体への補助であり、民間が平和啓発を市に代わって実施している。 岐阜空襲に関する次世代への継承は、本市で行う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市よりも情報量が豊富な民間が実施する平和啓発に対し、事業費の一部を補助するものであり、費用対効果はある。 民間を活用したものであり、効率的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	平和の尊さを戦争の悲惨さ、残酷さを後世及び若い世代に伝え、引き継ぐことが目的であり、その目的に資する事業としては、有効である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	低	受益者が一団体であり、包括外部監査で一団体に限定するのは公正とはいえないとの指摘がある。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	平和を目指して活動する団体に対し補助することで、岐阜空襲の資料の収集や展示などの取り組みが行われ、市の平和啓発に寄与するものである。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜版アダプト・プログラム事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		市民活動交流センター	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体 岐阜市	
開始・終了年度	平成	15	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市住民自治基本条例協働のまちづくり推進計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	環境美化に対する市民意識の高揚及び市民・行政の協働による快適な公共空間の創出を図る。	
内容 (手段・手法など)	道路、公園、河川等の公共空間・文化財等まちのシンボルの美化及びその環境保全のために行われる市民によるボランティア活動への支援(市民総合賠償保障保険等の適用、サインボードの設置)	
事業の 対象	何を	主として公共空間の美化活動
	誰に	市民活動団体、市内に活動拠点を置く企業等
	どのくらい	市全域
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	市内各地で186団体が市と覚書を結んで活動した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,423	75	2,385	75	2,415	75
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,423	75	2,385	75	2,415	75

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	備品購入費	311	275	770
	工事請負費	65	0	75
	修繕費	16	45	
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		392	320	845

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,815	2,705	3,260

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,815	2,705	3,260

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	406,407	402,965	401,294
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7	7	8

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	サインボード設置・修繕・撤去件数			単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	10	10	10		10
実績値	10	10	11		11

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	アダプト・プログラム参加団体数			単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	150	150	150		150
実績値	178	187	186		186
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	協働のまちづくりを進めるための一手法として有効である。 協働のまちづくりを進めるため、行政が支援をすべきである。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	サインボードの設置は参加団体の活動意欲を高め、まちづくりへの参 加継続を促すことができることから、費用対効果は高い。 活動参加を周知するには、実施場所への活動表示が最も効率的であ る。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	活動団体が増え続けており、協働のまちづくり推進に効果が得られて いる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	希望する団体へのサインボード設定、及び必要に応じた保険適用によ り、参加者に公平に対応している。 上記以外の活動に係る費用はすべて活動団体が負担している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	「協働のまちづくり」を進めるための一手法で、地域に愛着を持つ市民 を増やし、ひいてはシビックプライドの醸成につながる事業であることか ら、今後も参加団体の増に努める。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	市民活動支援事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	採択された市民活動団体
開始・終了年度	平成	16	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市住民自治基本条例、協働のまちづくり推進計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市内における地域社会の課題解決を目的とした事業の支援によって、協働のまちづくりを推進し、市民が誇りを持てる個性豊かな地域社会を実現するため。					
内容 (手段・手法など)	公開企画コンペにより補助対象事業を選考し、事業採択団体に拡充事業支援タイプに事業費の3分の2以内(上限20万円)、新規事業支援タイプに事業費の5分の4以内(上限8万円)を助成する。同一事業については最大3回まで支援、年度末に事業報告会を実施する。					
事業の対象	何を	事業費補助				
	誰に	公開企画コンペで採択された市民活動団体				
	どのくらい	拡充事業支援タイプ 活動事業費の2/3以内 限度額20万円 新規事業支援タイプ 活動事業費の4/5以内 限度額8万円				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	5,814	180	5,724	180	5,796	180
パートタイム会計年度任用職員A	5,150	500	5,050	500	5,050	500
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,964	680	10,774	680	10,846	680

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	3,783	4,000	3,985
	報償費	228	191	218
		5	19	19
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,026	4,230	4,241

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	14,990	15,004	15,087

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	14,990	15,004	15,087

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	助成団体が実施する事業の対象者	助成団体が実施する事業の対象者	助成団体が実施する事業の対象者
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	市民活動支援の応募件数		単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	23	23	23	23
実績値	25	29	29	33

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市民活動支援の採択件数		単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	23	23	23	23
実績値	24	25	25	28
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	対象分野を限定せず、その時々地域社会のニーズにあった事業に 補助することができる。 より良い公共の創出のため、市の支援が必要である。 「NPO法人等応援事業」が類似の事業である。統廃合はできない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	地域課題、社会課題の解決を目的とする市民活動団体に直接支援する ものである。 多様な実施主体と補いながら実施している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	補助によって実施している事業によって地域課題解決に資している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	公開による外部有識者の資産を行っており、一定額の団体負担もある。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	広く地域課題・社会課題の解決を目的に補助の対象としており、よりよい公共の創出に寄与している。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	地域力創生事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	地域のまちづくり協議会
開始・終了年度	平成	20	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市住民自治基本条例地域力創生事業補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民と行政の協働のもとに、防犯・防災、環境保全など、社会や地域課題の解決に向けて取り組み、快適で魅力ある地域を実現するために、地域が設置したまちづくり協議会に対して補助金を交付する。					
内容 (手段・手法など)	地域に設置されるまちづくり協議会の設立・運営についての相談やサポートのほか、運営費の一部を補助する。					
事業の対象	何を	補助金				
	誰に	地域が設置したまちづくり協議会				
	どのくらい	補助対象経費の3分の2以内の額で、まちづくり協議会を設立した年度は10万円、翌年度以降は30万円を限度とする。また、地域まちづくりビジョンを策定した翌年度以降は50万円を限度とする。				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	まちづくり協議会は、平成16年度に京町で初めて設立された後、年間数地区ずつ増え、令和5年度末時点では44地域となっている。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,690	300	9,540	300	9,660	300
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,690	300	9,540	300	9,660	300

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	15,061	16,000	17,200
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		15,061	16,000	17,200

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	24,751	25,540	26,860

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	24,751	25,540	26,860

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	地域のまちづくり協議会	地域のまちづくり協議会	地域のまちづくり協議会
受益者数	43	44	44
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	575,605	580,455	610,455

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	まちづくり協議会設立地区数		単位	地区
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	50	50	50	
実績値	43	44	44	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	まちづくり協議会で実施される活動費		単位	千円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	16,000	17,800	18,200	
実績値	25,430	31,597	36,449	
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	地域と行政の協働を推進するにあたり、将来的には住民自治の核として、住民主体のまちづくりを進める「まちづくり協議会」の設立支援のため必要である。 地域と行政の協働を推進するため、行政の一定の支援は必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	まちづくり活動経費へ一部を支援する中で、様々な活動を実施していることから、効果は大きい。 地域特性を生かし、地域の課題解決に向け、地域の将来像の達成を目指して、住民が主体となってまちづくりを進めることが必要であり、そのような仕組みは他にない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	地域が実施したアンケートでは、まちづくり協議会の活動により、「地域の課題について共有できた」、「地域を知ることによって郷土愛が芽生えた」などの声があり、地域の自主性に応じたまちづくりが進んでいる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	自治会連合会を中心とし、各種団体で構成された、市が認定した地域唯一の組織に対し広く支援するものである。 まちづくり協議会で必要な活動経費は各協議会が拠出しており、市はその経費の一部を支援している。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	将来の都市内分権の受け皿として位置付けられる重要な組織であり、今後も継続して支援していく。全地区への設立に向け引き続き地域を支援していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 004

## 【1.基本情報】

事業名	市民活動情報収集提供事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	直営	補助等の種類	その他	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 27 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市住民自治基本条例		

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民活動交流センターは、『「人・情報・活動」を結ぶ交流空間 - 協働のまちづくりの推進拠点』であり、市民活動の推進に係る情報を収集・提供して市民の市民活動への理解を深めるとともに、市民活動の推進を図る。					
内容 (手段・手法など)	・市民活動の取材調査し、情報の集約する。 ・印刷物の配架や広告媒体、ITを活用した情報発信する。					
事業の 対象	何を	市民活動に関する情報収集及び情報発信				
	誰に	市民活動団体、市民				
	どのくらい	予算の範囲内				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,690	300	9,540	300	9,660	300
パートタイム会計年度任用職員A	2,060	200	2,020	200	2,020	200
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,750	500	11,560	500	11,680	500

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	3,636	3,636	3,779
	使用料	690	708	396
	消耗品費	131	44	44
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,552	4,422	4,298

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	16,302	15,982	15,978

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	16,302	15,982	15,978

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民活動団体	市民活動団体	市民活動団体
受益者数	260	280	300
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	62,700	57,079	53,260

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	会報紙発行回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	4		4	4
実績値	4		4	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市民活動相談件数		単位	件
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	2,000		2,000	2,000
実績値	3,267		3,542	2,970
達成状況	(達成)	(達成)		(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	よりよい公共の創出を目指し、さまざまな地域課題に取り組む市民活動団体への情報発信は重要である。 市民活動交流センターが市民活動の情報発信拠点として必要な事業である。 類似の事業なし
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	電話等での問い合わせ受付、他の市民活動支援組織等からの情報収集を常時行いながら、SNSでの発信、広報紙「協働時代」発行等、広く市民に情報を発信している。 情報収集及び発信の手法にはさまざまな方法が考えられるため、随時効率的な方法を検討していく。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	ワークスペースの利用数、窓口、電話等での問い合わせが常に一定数あり、市民活動の拠点として活用されており、市民活動の活性化が図られている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	チラシ配架、ホームページ掲載、広報紙発行等、広く市民に情報を発信している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民活動の推進拠点として必要な事業であるが、これまでの実施内容を検証しながら、より効果的な手法も検討していく必要がある。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	地域まちづくりビジョン策定支援					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 30 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市住民自治基本条例地域力創生事業補助金交付要綱		

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	まちづくり協議会において、地域住民の思いをもとに、地域の資源や課題などを整理し、地域の具体的な行動を定め、住民主体のまちづくりを実現することを目的とする。					
内容 (手段・手法など)	地域の特性、資源、課題、将来像をアンケート等により収集する支援を行うほか、ファシリテーターなどを派遣したワークショップ方式による意見集約などへの支援を行う。					
事業の 対象	何を	地域まちづくりビジョン策定支援				
	誰に	まちづくり協議会				
	どのくらい	ファシリテーターの派遣や関連資料の作成等				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	平成30年度から令和4年度までに20地域で策定。(本荘、島、芥見、芥見東、鷺山、芥見南、本郷、三輪南、木田、岩野田北、金華、木之本、藍川、岩野田、柳津町、則武、長森東、西郷、岩、鏡島) 令和5年度は、1地区で策定。(白山)					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,460	200	6,360	200	6,440	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,460	200	6,360	200	6,440	200

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	91	112	36
	消耗品費	0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		91	112	36

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	6,551	6,472	6,476

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	6,551	6,472	6,476

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	地域のまちづくり協議会	地域のまちづくり協議会	地域のまちづくり協議会
受益者数	3	5	6
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,183,667	1,294,400	1,079,333

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	策定地区数		単位	地区
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	5		6	6
実績値	3		5	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	まちづくり協議会で実施される活動費		単位	千円
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	16,000		17,800	18,200
実績値	25,430		31,597	36,449
達成状況	(達成)		(達成)	(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	岐阜市住民自治基本条例の第7条(コミュニティ)において、まちづくり協議会は、地域の特性を生かしたまちづくりを推進することに努めるものとしてされている。 地域と行政の協働を推進するため、行政の一定の支援は必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	地域の将来像実現に向け、具体的な行動計画を策定することで、地域の特色あるまちづくりがさらに進めやすくなる。 ファシリテーターによるワークショップに加え、アンケート、パブリックコメント手続き制度等、様々な手法を活用して地域住民の思いを把握することが、地域の将来像を描く上で最も重要である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	地域の将来像実現を目指し、地域の特徴をとらえた行動計画策定につながっている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	自治会連合会を中心とし、各種団体で構成された、市が認定した地域唯一の組織に対し広く支援するものである。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	まちづくり協議会は、将来の都市内分権の受け皿として位置付けられる重要な組織である。その将来像実現に向けて、住民主体のまちづくりを具体的に進めるためにも、今後も継続して支援していく。また策定後、一定期間経過した地域について、その取り組み評価やビジョン見直し等を支援していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 006

## 【1.基本情報】

事業名	NPO法人等応援事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	指定されたNPO法人等	
開始・終了年度	令和	2	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市住民自治基本条例・協働のまちづくり推進計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域社会の課題解決を目的として活動するNPO法人等を岐阜市へのふるさと納税という形で応援することにより、協働のまちづくりを推進し、市民が誇り(シビックプライド)を持てる個性豊かな地域社会の実現を図る。					
内容 (手段・手法など)	クラウドファンディング型ふるさと納税(寄附金)を活用し、使い道を市内のNPO法人等が行う活動やプロジェクトに充当することを示して寄附を集める。集まった寄附金から市における必要経費(インターネット掲載手数料その他募集に要する費用など)を差し引いた金額を、NPO法人等に対し交付する。					
事業の対象	何を	事業費補助				
	誰に	NPO法人等の市民活動団体				
	どのくらい	集まった寄附金から市における必要経費を差し引いた額				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	手数料の変更					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	5,814	180	5,724	180	5,796	180
パートタイム会計年度任用職員A	5,150	500	5,050	500	5,050	500
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,964	680	10,774	680	10,846	680

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		12,749	23,034	34,408
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金補助	11,555	21,058	29,916
	使用料	1,194	2,163	4,042
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		12,749	23,034	34,408

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	23,713	33,808	45,254

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	21,702	28,197	36,747
計(F)	21,702	28,197	36,747

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,011	5,611	8,507

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	NPO法人等が実施する事業の対象者	NPO法人等が実施する事業の対象者	NPO法人等が実施する事業の対象者
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	応募団体数		単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	3	3	3	3
実績値	6	7	7	8

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	指定団体数		単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	3	3	3	3
実績値	6	7	7	8
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	対象分野を限定せず、その時々地域社会のニーズにあった事業に 補助することができる。 より良い公共の創出のため、市の支援が必要である。 「市民活動支援事業」が類似の事業である。統廃合はできない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	地域課題・社会課題の解決を目的とするNPO法人等が実施する事業 に、市民が支援するものである。 市民の寄附により実施している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	補助によって実施している事業によって地域課題解決に資している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	市民の寄附により団体を応援するものであり、一定額の団体負担もある。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	市民の寄附により、広く地域課題・社会課題の解決する事業に補助し ており、よりよい公共の創出に寄与している。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 007

## 【1.基本情報】

事業名	自治会広報板設置補助・広報板撤去及び修繕事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	自治会連合会及び単位自治会	
開始・終了年度	平成	15	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市自治会広報板設置に関する補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域におけるまちづくりとコミュニティ活動を促進するため、地域の情報の共有化を図る。					
内容 (手段・手法など)	自治会広報板設置者に対する補助金の交付、既存の市広報板の撤去及び修繕					
事業の 対象	何を	広報板設置の補助金や、市広報板の撤去及び修繕				
	誰に	広報板設置者、地域住民				
	どのくらい	設置にかかる工事費(補助率2分の1以内、限度額70,000円)、岐阜市全域の市広報板				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		747	1,431	749
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	187	331	127
	工事請負費	128	0	114
	修繕料	432	1,100	507
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		747	1,431	749

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	3,977	4,611	3,969

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	3,977	4,611	3,969

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	自治会員	自治会員	自治会員
受益者数	232	394	87
受益者負担額(千円)	255	580	147
受益者負担率(%)	6.4%	12.6%	3.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	17,142	11,703	45,621

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金交付件数・工事請負費・修繕料		単位	台
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	5・7・20	5・7・12	4・4・15	
実績値	3・2・6	5・1・15	2・0・8	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市民意識調査の「自治会などの地域活動に参加していますか、の 「参加している」「ときどき参加している」の回答率アップ		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	前年より上昇	前年より上昇	前年より上昇	
実績値	48	48	47	
達成状況	(達成)	(達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	情報伝達手段としてオンラインでの情報伝達が主流になりつつあるが、限定的ではあるが広報板による地域コミュニティでの情報伝達も必要不可欠な手段となっている。 地域の公共性の高い情報を伝達するための手段であり、岐阜市が担う必要がある。 類似する事業は無い
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	地域コミュニティの1つの情報伝達手段として有効 コミュニケーションツールは大きく変化しており、SNS等有効な手法もある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	例年、設置や修繕の要望があることから、広報板という情報伝達手段も市民からのニーズがあることが明らかであり、修繕等を行うことで市民のニーズに応えられ有効である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	全ての自治会が対象
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	手段としては有効であるが、今後の事業のあり方及び管理体制について検討していく必要がある。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 008

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市自治会連絡協議会運営費補助金					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市自治会連絡協議会
開始・終了年度	昭和	46	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市自治会連絡協議会運営補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市内50地区の連合会長の集まりである岐阜市自治会連絡協議会が市からの依頼事項への対応や、意見交換、また住民自治活動に関する情報の収集や調査・研究や地域の自治活動の活性化を支援する事業に関する企画調整など運営にかかる費用を補助する。					
内容 (手段・手法など)	自治会連合会長の研修、表彰及び岐阜市と自治会連合会との連携業務					
事業の対象	何を	補助金				
	誰に	岐阜市自治会連絡協議会				
	どのくらい	5,476千円/年				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	258	25	253	25	253	25
パートタイム会計年度任用職員B	120	25	125	25	130	25
計(A)	1,993	100	1,968	100	1,993	100

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	5,476	5,476	5,476
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		5,476	5,476	5,476

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,469	7,444	7,469

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,469	7,444	7,469

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市自治会連絡協議会(連合会長)	岐阜市自治会連絡協議会(連合会長)	岐阜市自治会連絡協議会(連合会長)
受益者数	50	50	50
受益者負担額(千円)	450	450	450
受益者負担率(%)	6.0%	6.0%	6.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	149,370	148,870	149,370

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	定例会、理事会の開催数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	22	22	22	
実績値	22	22	21	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市民意識調査の「自治会などの地域活動に参加していますか、の 「参加している」「ときどき参加している」の回答率アップ		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	
実績値	48	48	47	
達成状況	(達成)	(達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市の事業の各地域への依頼や、情報の伝達、市民のニーズを把握するための場として、また岐阜市全域の地域自治組織としての代表団体とし、行政と連携し事業を進めるためにその支援は必要。 市の事業に関するものであり、市が担う必要がある。 類似の事業はない
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	各地域への依頼事項や市民生活のための情報を岐阜市全域に伝えるための手段として有効。また、市全域の地域の共通課題や有益な情報の共有や、対策を協議するための団体として効果は高い。 岐阜市全域をカバーした唯一の住民組織であり、他の有効な方法は無い。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	各地域への依頼事業が滞りなく実施され、地域の課題や有益な情報が共有されており、効果は得られている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	岐阜市域全体をカバーした唯一の住民組織であり適正。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市から自治会連合会への依頼事項が滞りなく実施されるために、また地域の課題や有益な情報の共有化により、各連合会の活動を取りまとめたいけるよう、その運営や取り組みについて引き続き支援していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 009

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市自治会連合会運営費補助金					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市自治会連絡協議会
開始・終了年度	昭和	41	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市自治会連合会運営費補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	自治会連合会の運営を健全に円滑に推進し、住民福祉の増進と地域社会の発展向上を目的とした事業					
内容 (手段・手法など)	総会や役員会などの運営及び地域の安心・安全に係る事業や地域振興に係る行事等を実施するための各自治会連合会の運営に関する補助					
事業の 対象	何を	運営費補助金				
	誰に	市内50自治会連合会				
	どのくらい	均等割と世帯割で算出された額				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	258	25	253	25	253	25
パートタイム会計年度任用職員B	120	25	125	25	130	25
計(A)	1,993	100	1,968	100	1,993	100

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		30,835	30,835	30,835
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	30,835	30,835	30,835
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		30,835	30,835	30,835

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	32,828	32,803	32,828

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	32,828	32,803	32,828

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	自治会加入世帯	自治会加入世帯	自治会加入世帯
受益者数	105,638	104,330	100,413
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	311	314	327

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助金額		単位	円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	30,837	30,837	30,837	
実績値	30,835	30,835	30,835	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市民意識調査の「自治会などの地域活動に参加していますか」の 「参加している」「ときどき参加している」の回答率アップ		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より上昇	
実績値	48	48	47	
達成状況	(達成)	(達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	各地域でのそれぞれのニーズに合った地域活動を維持するための運営費として、また地域との協働にとどまらず、災害時の共助など地域コミュニティを維持していくために必要。 岐阜市全域で地域活動を担う団体であり、市が実施していく必要がある。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	各地区の自主的な運営に対し、一定の支援を行うことで地区それぞれが独自の活動を行っている。 他に同様な地域活動を担う団体はない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	各地域のコミュニティ活動が順調に実施されており、地域コミュニティの充実に向けて効果は高い。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	自治会員に加え地域住民全体が受益者であり公平性は高い。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市にとって、各地域でそれぞれニーズにあった地域コミュニティが自主的に維持されることは必要不可欠であり、本事業により継続して支援していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 010

## 【1.基本情報】

事業名	住民自治推進大会					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	直営	補助等の種類	その他	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	63	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市自治会長感謝状贈呈要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	表彰や講演により、また地域活動に関する有益な情報を提供することで、自治会や市民活動関係者をはじめとした多くの市民が、地域活動に参加意識をもつ機会とし、市民と行政によるまちづくりをより強く推進することを目的としている。					
内容 (手段・手法など)	自治会長永年勤続表彰、市民参画賞表彰、自治会加入促進表彰、講演					
事業の対象	何を	事業運営費				
	誰に	表彰対象者、一般参加者				
	どのくらい	予算の範囲内				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	例年通りの形式で式典を継続					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	258	25	253	25	253	25
パートタイム会計年度任用職員B	120	25	125	25	130	25
計(A)	1,993	100	1,968	100	1,993	17

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	事業用品費	403	364	398
	印刷製本費	130	102	90
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		533	466	466

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,526	2,434	2,459

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,526	2,434	2,459

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	406,407	402,965	401,294
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3	2	6

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	表彰者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	250	250	250	
実績値	206	217	217	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市民意識調査の「自治会などの地域活動に参加していますか」の 「参加している」「ときどき参加している」の回答率アップ		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	前年度より上昇	前年度より上昇	前年度より下降	
実績値	48	48	47	
達成状況	(達成)	(達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	自治会活動や地域活動に関する表彰や講演は、市民の活動意欲の 向上や意識醸成につながる機会として必要。 岐阜市民を対象としており、岐阜市が実施するべきである。 類似事業はない
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	表彰に必要な講師謝礼や物品等の支出のみであり、費用に対する効果 は高い。 岐阜市民を対象としており、岐阜市が実施するべきである。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	市民の活動意欲の向上や意識醸成につながるきっかけとして効果がある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	すべての市民が自治会や地域活動に参加することで表彰対象となり得る。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	市民が地域活動に対する参加意識を高めるため、また自治会活動や地域活動の参加者の活動意欲の維持のためにも必要であり、今後も継続して実施する。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 011

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜県公民館連合会負担金					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	岐阜県公民館連合会	
開始・終了年度	昭和	37	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜県公民館連合会会則

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜県内の各公民館等相互の連絡提携を図り、公民館活動の振興発展に寄与すること。					
内容 (手段・手法など)	公民館活動の振興発展のため、研修の開催や公民館に関する資料の収集及び情報の交換を実施している岐阜県公民館連合会に対し負担金を支出している。					
事業の 対象	何を	負担金				
	誰に	岐阜県公民館連合会				
	どのくらい	応分の負担金(123千円)				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	32	1

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		137	123	123
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	137	123	123
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		137	123	123

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	169	155	155

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	169	155	155

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜県内の公民館関係者	岐阜県内の公民館関係者	岐阜県内の公民館関係者
受益者数	1,000	1,000	1,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	169	155	155

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	負担金額		単位	千円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	137	123	123	
実績値	137	123	123	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	表彰者数(岐阜県公民館連合会表彰)		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	5	5	5	
実績値	9	4	17	
達成状況	(達成)	×(未達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	公民館活動の振興発展のための連携協力は必要である。 本市が加盟する県の連合会への負担金拠出のため、市が負担すべきものである。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本市が加盟する県の連合会への負担金拠出のため、市が負担すべきものである。 県内の公民館の情報収集や研修の開催など行う連合会は必要である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	研修会の開催や、県内の公民館の情報提供など、本市の公民館活動の振興発展につながっている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	市町村の人口に応じた加盟自治体応分の負担であり適正である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	公民館活動の振興発展のための県内公民館との連携協力は必要であるため継続していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 012

## 【1.基本情報】

事業名	公民館建設及び維持補修工事					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	43	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	社会教育法

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	現有の地区公民館の多くが昭和50年代に建設されたものであり、老朽化が進んでいることから、利用者の安全性の確保や利便性の向上を図るため、空調設備の更新、下水道本管への切替え、屋根・外壁等の修繕工事や改築工事を順次行う必要があるため。					
内容 (手段・手法など)	公民館施設の空調、屋根、下水切替え等の維持補修工事や改築を実施する。					
事業の 対象	何を	公民館の補修工事や改築を				
	誰に	市内全地域の住民に				
	どのくらい	市内50公民館				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	0	0

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	維持管理工事費	5,500	8,450	7,961
	建設工事費	120,155	179,808	204,148
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		125,655	188,258	212,109

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	128,885	191,438	212,109

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	128,885	191,438	212,109

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	公民館利用者	公民館利用者	公民館利用者
受益者数	353,402	479,484	529,191
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	365	399	401

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	工事施工件数		単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	2		5	8
実績値	2		5	8

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	公民館数		単位	館
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	50		50	50
実績値	50		50	50
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	昭和50年代に建設した公民館施設が多く、老朽化が進んでいることから、利用者の安全性の確保や利便性の向上を図るために逐次実施する必要がある。 市が設置・維持管理する市有施設であり、当事業は市が行うべきものである。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	利用安全の確保や利便性向上等を目的に、状況を踏まえた優先度に基づき適宜実施するものである。 市が設置・維持管理する市有施設であり、当事業は市が行うべきものである。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	今後長年に渡り、利用者の安全性の確保や利便性の向上につながるなどの効果が見込まれる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	受益者は、公民館利用者であるため公平である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	利用者の安全性の確保や利便性の向上のため継続が必要である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 013

## 【1.基本情報】

事業名	地区公民館運営管理					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	24	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	社会教育法、岐阜市公民館条例

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	社会教育法第21条及び岐阜市公民館条例第2条に基づき市が設置した50の地区公民館において、同法第20条に定める生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを主たる目的に、社会教育・生涯学習活動をはじめ、地域コミュニティ活動、地域防災活動等の拠点として市民に活動の場と機会を提供し、地域力の向上に寄与する。					
内容 (手段・手法など)	各館に会計年度任用職員の館長1名及び主事1名を配置し、公民館講座の開設・運営、クラブ・サークルの育成・助言、地域住民の集会その他公共的利用への施設提供、各種団体・機関等との連絡調整及び連携事業の実施、地域防災活動への施設提供、公職選挙法に基づく施設利用などに係る事務及びサービスを市民に提供する。					
事業の対象	何を	社会教育・生涯学習のための学びの機会や場の提供及び活動、地域コミュニティ活動、地域防災活動等の拠点としての場やサービスの提供				
	誰に	すべての岐阜市民				
	どのくらい	地区公民館50館において、柳津公民館は年末年始を除く毎日、それ以外の49館については年365日開館し、市民の利用に供する。				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	50,470	4,900	49,490	4,900	49,490	4,900
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	53,700	5,000	52,670	5,000	52,710	5,000

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	公民館講座講師報償金	911	1,323	1,424
	公民館運営審議会委員報酬	1,820	1,820	1,820
	公民館事業委託金	17,675	17,743	17,686
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		21,869	20,886	20,930

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	75,569	73,556	73,640

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	75,569	73,556	73,640

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	公民館利用者	公民館利用者	公民館利用者
受益者数	353,402	479,484	529,191
受益者負担額(千円)	597	857	1,044
受益者負担率(%)	0.8%	1.2%	1.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	214	153	139

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	公民館講座開催数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	300	300	300	
実績値	303	514	563	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	公民館講座利用者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	6,500	6,500	6,500	
実績値	8,626	14,219	17,324	
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	社会教育法が定める目的の達成のため及び学校と連携した地域活動の拠点として不可欠であり、住民の結節点として教育立市の一翼を担う中核施設である。 社会教育法第21条において、「公民館は、市町村が設置する。」と規定されている。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	地域住民の生涯学習・社会教育活動の場として公民館は必要不可欠な場である。 社会教育法に基づき、市が設置し管理する施設のため、市が担う必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	公民館講座や文化祭など公民館事業に地域住民が多数参加し、生涯学習・社会教育活動及び地域の拠点として公民館が活用されている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	公民館は一般的な貸館とは異なり、社会教育法に定める崇高な理念を実現するため、基準に基づき公平公正に市民にサービスを提供し、応分の受益者負担を求めている。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	社会教育法に定める目的の実現に向けて、地域に根差した公民館が果たすべき役割は非常に大きく、社会教育法に基づく地域に根差した教育施設として運営管理する限りにおいては、現状維持が適当である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 014

## 【1.基本情報】

事業名	自治公民館助成					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	地域住民(自治公民館の建設及び修繕等に対する補助)
開始・終了年度	昭和	43	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市自治公民館補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	建設費等の補助により、快適な施設整備を行う。					
内容 (手段・手法など)	自治公民館の建設費及び修繕費に対する補助					
事業の 対象	何を	自治公民館の環境整備				
	誰に	地域住民				
	どのくらい	補助率: 建設・修繕補助1 / 3以内				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	1,610	50

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,948	5,925	8,736
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	建設補助金	0	0	0
	維持補修補助金	5,948	5,925	8,736
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		5,948	5,925	8,736

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,563	7,515	10,346

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,563	7,515	10,346

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	自治公民館設置者	自治公民館設置者	自治公民館設置者
受益者数	21	14	23
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	360,143	536,786	449,826

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助対象自治公民館数		単位	館
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	20	14	16	
実績値	21	14	23	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	認定自治公民館数		単位	館
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	312	312	312	
実績値	312	312	311	
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	地域における社会教育・生涯学習活動やコミュニティ活動の場として、 地域の負担軽減に助力し、活動振興を図る必要がある。 地域における社会教育の振興を図り、実生活に即する文化的教養を 高めるための環境整備のために市が補助する必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	地域における社会教育・生涯学習活動やコミュニティ活動の場として 重要な施設であるため、その建設費や修繕費に対する補助は大きな 意義がある。 地域住民の負担を軽減し、社会教育活動やコミュニティ活動環境の充 実を図ることを目的とするものであり、協働事業である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	地域の負担軽減に助力し、地域における社会教育・生涯学習活動や コミュニティ活動の充実・振興に寄与している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	岐阜市自治公民館補助金交付要綱に基づき補助するものであり公平 である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	地域の要望、他都市の状況調査の結果をふまえ協議した結果、令和 元年度より補助内容を拡充した。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 015

## 【1.基本情報】

事業名	まちづくりサポートセンター負担金				
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター	
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市まちづくりサポートセンター
開始・終了年度	平成 28 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市住民自治基本条例協働のまちづくり推進計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民と行政の協働のもとに、防犯・防災、環境保全など、社会や地域課題の解決に向けて取り組み、快適で魅力ある地域を実現するために活動するまちづくり協議会に対する支援活動に取り組む中間支援組織「岐阜市まちづくりサポートセンター」の運営を支援する。	
内容 (手段・手法など)	岐阜市まちづくりサポートセンターは、まちづくり協議会をはじめ地域のまちづくり活動を支援する趣旨で、活動や組織運営のノウハウを提供するまちづくり人材の育成講座等取り組みを実施している。その運営のための負担金を支出する。	
事業の 対象	何を	負担金
	誰に	岐阜市まちづくりサポートセンター
	どのくらい	対象組織の組織運営(人件費含む)及び主な事業実施(人材育成講座など)に要する費用 (R3)3,900千円 (R4)4,450千円 (R5)4,450千円
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,900	4,450	4,450
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	3,900	4,450	4,450
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,900	4,450	4,450

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	4,869	5,404	5,416

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	4,869	5,404	5,416

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	地域のまちづくり協議会	地域のまちづくり協議会	地域のまちづくり協議会
受益者数	43	44	44
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	113,233	122,818	123,091

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	事業(地域支援活動・講座)実施回数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10	10	10
実績値	17	12	12

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	まちづくり協議会設立地区数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3	3	3
実績値	0	1	0
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	住民主体のまちづくりを進める「まちづくり協議会」の自立的な活動を支援し促進する中間支援組織として重要な役割を持つ団体の運営を支えるものである。 住民自治の充実において、地域コミュニティ組織の活性化支援策は極めて重要な位置づけを持つ事業である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	まちづくり事業にはさまざまなノウハウの活用が必要である。本事業には岐阜大学や企業、NPO等が連携・協働の枠組みに関わっており、一定の負担により効果的な事業の企画・実施が期待できる。 第三者的視点をもって市の施策に関わっており、市単独での事業推進と比較し、効率的な事業展開に寄与している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	まちづくり協議会は将来の都市内分権の受け皿として位置付けられている重要な組織であり、主体性を持って活動を実施していくには、活動や運営ノウハウの面など寄り添って支援できる仕組みは有効である。また、岐阜大学や㈱十六銀行、NPOなど、多方面で影響力を持つ主体をまちづくり活動につなぐ連携の枠組みとしても有効である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	岐阜市まちづくりサポートセンターの取り組みは、地域の課題解決のための活動に取り組みうとする市民が、広く参加でき、支援を受けることができるものである。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	まちづくり協議会は将来の都市内分権の受け皿として位置付けられている重要な組織であり、主体性を持って活動を実施していくには、活動や運営ノウハウの面など、寄り添って支援できる仕組みが必要である。引き続き、市内全地区での設立を目指し支援していく必要がある。 また、岐阜大学や㈱十六銀行、NPOなど、多方面で影響力を持つ主体をまちづくり活動につなぐ連携は今後も重要である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060030 \_ 016

## 【1.基本情報】

事業名	地域コミュニティDX推進					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	市民活動交流センター		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	5	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市協働のまちづくり推進計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	デジタル技術を活用した効果的、効率的な自治会連絡協議会・連合会活動を推進するため					
内容 (手段・手法など)	タブレット端末を導入し、ビジネスコミュニケーションツール(LINEWORKS)の活用等を支援することで、ペーパーレス化、情報共有の効率化・合理化を推進する。					
事業の 対象	何を	デジタル技術活用支援				
	誰に	自治会連合会長及び自治会員				
	どのくらい	タブレット端末及びビジネス用コミュニケーションツール導入(50地区+事務局)。 地区別DX講座の開催(50地区)。				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	6,440	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	6,440	200

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	備品購入費	0	0	2,855
	委託料	0	0	919
	手数料	0	0	547
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	0	0
		0	0	4,858

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	11,298

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	2,429
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	2,429

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	8,869

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者			
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	-	-	-
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	地区別DX講座の開催		単位	地区数
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	50	
実績値	-	-	31	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	負担軽減を感じた連合会長の割合		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	10	
実績値	-	-	38	
達成状況				(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	自治会をはじめとする地域コミュニティでは活動の負担が大きく、高齢化や現役世代の担い手不足などの課題があるため、活動や組織運営(情報共有、連絡調整など)の負担軽減が求められている。 地域コミュニティを持続可能なものとするため、行政の一定の支援は必要である。 類似事業はない
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	連合会長を起点に、ペーパーレスで効率的に情報を伝達することができるため、費用対効果は高い。 市からの情報が集約される自治会連合会長を中心に導入するのが効果的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	多くの地区が情報共有の手段を、従来の紙・電話からコミュニケーションツールに移行しつつある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	全ての地区の自治会連合会を支援するものである。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	地域コミュニティを持続可能なものとするため、その根幹をなす自治会の負担軽減は、今後も必要不可欠である。デジタル技術を活用することで、効率的な活動、組織運営ができるよう今後も支援を継続する。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060040 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	市民相談業務					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		市民相談室	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体 岐阜市	
開始・終了年度	昭和	47	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市市民相談業務実施要綱	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の日常生活における悩み事や心配事などの相談に応じ、適切な助言を行うことにより、市民サービスの向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	法律相談を始め、くらし、交通事故、労働なんでも、職業、行政、人権、不動産、税務、登記、建築、心配ごと、土地境界、行政手続、結婚相談の15種類の専門相談窓口の開設					
事業の 対象	何を	相談業務				
	誰に	市民				
	どのくらい	毎日(開庁日/曜日により各種の相談)				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	10,078	312	9,922	312	10,046	312
パートタイム会計年度任用職員A	3,090	300	3,232	320	3,202	317
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	13,168	612	13,154	632	13,248	629

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,945	3,849	3,813
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	弁護士報酬費	2,717	2,774	2,698
	相談業務委託	949	992	1,031
	パンフレット作製	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,945	3,849	3,813

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	17,113	17,003	17,061

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	17,113	17,003	17,061

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	相談者	相談者	相談者
受益者数	3,008	3,380	3,432
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,689	5,030	4,971

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	専門相談窓口件数		単位	窓口数
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	15	15		15
実績値	15	15		15

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	相談件数		単位	件
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	3,800	3,800		3,800
実績値	3,008	3,380		3,432
達成状況	× (未達成)	× (未達成)		× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	時代の変化に伴い日常生活における問題が多様化・複雑化していることなどから、市民相談に対する市民・社会のニーズは依然として大きい。 各専門機関・団体がそれぞれの相談活動を行っているが、市が各種専門相談を揃えた無料の相談窓口を設定することにより、幅広い市民が気軽に相談することができるようになる。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	弁護士会、司法書士会等の協力により、幅広くまた専門的な相談を行うことができている。 今後の社会情勢の変化に伴い、相談種類を見直すなど、常に市民のニーズに合った相談窓口を提供する必要がある。結婚相談については、県が実施する「ぎふ広域結婚相談事業ネットワークシステム」へ参画している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	来庁者アンケートにおいて、高い満足度が示されており、市民の有益な相談窓口としての役割を果たしている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	広報ぎふ等をはじめとした広報や長年の事業実施により、広く市民に周知されていること、特定の市民に利用が限られることはなく、公平性は保たれている。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	時代の変化に伴い日常生活における問題が多様化・複雑化していることなどから、市民相談に対する市民・社会のニーズは依然として大きい。引き続き、市民の日常生活における悩み事や心配事などの相談に応じ、適切な助言を行うことにより、市民サービスの向上を図る。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060040 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	「市長への手紙」事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		市民相談室	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	46	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市市長への手紙事務処理要綱	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民がまちづくりに参画し、「市民と行政がまちづくりのパートナーとして、お互いに学び合い、育ち合うことのできる社会」を築くことを目指し、まちづくりや市政に関する提案・意見を、より多くの市民から寄せてもらい「協働のまちづくり」を進めていく。					
内容 (手段・手法など)	「市長への手紙」は、市長への手紙(封筒)、FAXで受け付けるほか、HPの「市民ご意見板」の中に市長への手紙投書欄を開設。「市長への手紙」の封筒は、市役所や各事務所等に置いてある。					
事業の 対象	何を	市長への手紙(提案、要望、意見、質問、苦情、その他)				
	誰に	市民				
	どのくらい	常時				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	5,039	156	4,961	156	5,023	156
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	5,039	156	4,961	156	5,023	156

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	49	0
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	封筒(印刷込)	0	49	0
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		0	49	0

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	5,039	5,010	5,023

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	5,039	5,010	5,023

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	手紙の投書者	手紙の投書者	手紙の投書者
受益者数	651	505	334
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7,740	9,920	15,040

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	必要な対応・処理を行った市長への手紙			単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	250	250	250		
実績値	651	505	334		

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	施策検討等の契機となった提案、意見等			単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	280	280	280		
実績値	688	594	348		
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民がまちづくり(市政)に参画する方法の一つとして、重要な役割を担っている。 市政に対する提言・意見のため。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	少ない人件費・事業費で事務を遂行し、適切な効率性を保っている。 現在の方法が妥当と考えられる。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民から寄せられた提言・意見に対して、適切に回答するとともに、各担当部局において必要な対応を行っており、期待した効果が得られている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	多くの市民から提案・意見を出していただけるよう、「市長への手紙用封筒」(郵送料を岐阜市が負担)を市役所、各事務所、各コミュニティセンター等に設置し、また市ホームページの投稿フォームやFAXによる投書も受け付けている。小学生からご高齢の方まで幅広くお手紙をいただいている。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民が手紙やEメール・FAXにより市政に対して提案や意見等を述べることができ、幅広い年齢層からの投書がある。まちづくり(市政)に参画できる一つの方法として、市民に受け入れられている。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060050 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	人権教育・啓発推進					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	人権啓発センタ -		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	4	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画 人権教育及び人権啓発に関する法律、 第3次岐阜市人権教育・啓発行動計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、家庭や学校、職場や地域においての心の輪を広げ人権尊重のまちづくりを推進する。					
内容 (手段・手法など)	人権の広場、啓発グッズ作成、人権作品募集、人権パネル展、地域人権推進、人権学習講座、心の輪講座、ハートフル人権ライブ、人権教育学習資料作成、人権啓発ライブラリー充実、職員向け人権研修会、人権擁護委員と連携した啓発					
事業の 対象	何を	人権に関する講演会 人権に関する作品の表彰・発表、人権パネル展、「心のふれあいと人権尊重のつどい」等				
	誰に	全市民				
	どのくらい	人権の広場:年1回、人権パネル展2回				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	17,862	553	17,585	553	17,807	553
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	17,862	553	17,585	553	17,807	553

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	人権の広場	557	535	483
	人権パネル展	353	346	358
	地域人権教育	2,288	2,292	2,420
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,038	6,351	6,901

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	23,900	23,936	24,708

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	1,077	949	788
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	3,749	4,146	3,370
計(F)	4,826	5,095	4,158

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	19,074	18,841	20,550

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	406,407	402,965	401,294
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	47	47	51

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	グッズ作成		単位	個
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	20,300	20,300	20,300	
実績値	25,300	10,300	10,300	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	人権教育参加者		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	16,400	16,400	16,400	
実績値	12,337	16,994	23,256	
達成状況	× (未達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に、「国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、人権教育及び人権施策に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されている。 人権に関する市民意識について、人権問題への高い水準を維持するためには、市が人権教育・啓発を推進する必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	「人権の広場」や「人権学習講座」等人権啓発センターが主催している事業だけでなく、市内全域で地域人権教育推進が住民により実施されており、効果的である。 人権問題や人権課題が多様化、複雑化していることを踏まえると、市が、様々な声を聴き、どう対応すべきかを判断し、施策とすることが効果的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	「人権の広場」の参加者アンケートによると9割以上がこのような催しを行うべきと回答し、「人権に関する作品募集」で優秀だった作品が本市の地域外に他の自治体からも好事例として紹介される等効果が得られている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	地域人権教育推進の取組等、市内の全ての地域で「心のふれあいと人権尊重のつどい」等が実施され、定着している。一方で、人権問題、人権課題は多様化してきており、イベント内容や参加者拡大に一層の工夫が必要である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市は強調期間を独自に長く設定し、「人権の広場」等の市主催事業だけでなく、市内全域で住民主体で学校等と連携し、「人権学習」を進めている。人権を考えるきっかけとなる場の提供を継続することで「生き合う力」を育てたい。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060050 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	同和教育啓発推進団体事業補助					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	人権啓発センタ -		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	部落解放同盟岐阜県連合会岐阜市内支部 自由同和会岐阜県本部岐阜支部	
開始・終了年度	昭和	49	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 岐阜市人権推進事業補助金交付要綱

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	同和問題に起因する人権の擁護及び人権啓発の推進を図り、もって一人ひとりが尊重される社会の実現に資するため					
内容 (手段・手法など)	1 同和問題解決に向けた啓発及び相談支援、研修、講演会等の活動に係る事業 2 市民の人権意識に対する啓発活動及び調査研究事業 を実施する団体に事業補助をする。					
事業の 対象	何を	同和問題解決に向けた啓発及び相談支援、研修、講演会等の活動に係る事業				
	誰に	同和問題の解決に向けた活動を5年以上行っている団体				
	どのくらい	補助対象経費の2分の1以内				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,938	60	1,908	60	1,932	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,938	60	1,908	60	1,932	60

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		667	763	600

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,605	2,671	2,532

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,605	2,671	2,532

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市内支部	市民	市民
受益者数	33	402,965	401,294
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	78,939	7	6

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助助成額		単位	千円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	763	763	763	763
実績値	667	763	763	600

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	研修会開催・参加者数等		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	81	81	81	81
実績値	54	68	68	48
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	「部落差別解消の推進に関する法律」に、「部落差別の解消に関する施策」は、「部落差別を解消する必要性に対する国民一人一人の理解を深めることにより、部落差別のない社会を実現することを旨として、行われなければならない」とされている。 「部落差別解消の推進に関する法律」には、「部落差別の解消に関し、国との適切な役割分担を踏まえ、国及び他の地方公共団体と連携を図りつつ、その地域の実情に応じた施策を講ずるよう努めるもの」とされている。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	部落差別のない社会を実現するためには、地域社会の実情を踏まえつつ、部落差別の解消に関する施策を実施する必要があり、目的や基本理念を共有でき、かつ具体的な地域社会での活動実績が伴う団体への補助は効果的である。 国民一人一人の理解を深めるように努める活動であり、効率性だけを重視した民間活用は考えられない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	同和問題を地域ぐるみで取り組むことで解決を目指してきた。これからも、本市が「部落差別解消の推進に関する法律」の参議院法務委員会における附帯決議を十分に踏まえ、総合的に部落差別の解消に関する施策を講ずるにあたり有効である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	「岐阜市人権推進事業補助金交付要綱」に基づき、適正な受益者負担がなされているか、対象外の支出項目は無いかなど申請書類を審査し、補助金を交付している。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	同和問題の解決を地域ぐるみの活動として取り組んできた。団体の市内支部への助成することで、引き続き、部落差別のない社会を実現することをめざしていく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060050 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	施設管理運営					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	人権啓発センタ -		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	53	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 第3次岐阜市人権教育・啓発行動計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域住民の社会・経済・文化的改善を図ると共に、人権課題の解決に資する。日々の生活に役立て新しい仲間と触れあう中で心温まる人間関係を築く。					
内容 (手段・手法など)	日々の生活に役立つ講座を開設					
事業の 対象	何を	一般成人を対象とした定期講座、成人講座、クラブ活動、市民講座等、人権研修会、会館まつり、文化祭				
	誰に	地域住民				
	どのくらい	定期講座(10講座)、成人講座(11講座)、市民講座(4回、2回)、人権研修会(10回)、会館まつり(1回)、文化祭(1回)				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	388	12	382	12	386	12
パートタイム会計年度任用職員A	2,266	220	2,222	220	2,222	220
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,654	232	2,604	232	2,608	232

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	605	865	927
	需用費	3,306	3,576	2,538
	委託料	1,260	1,406	1,519
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,126	5,847	4,986

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	8,780	8,451	7,594

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	4,467	4,467	4,467
県支出金	173	173	88
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	4,640	4,640	4,555

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	4,140	3,811	3,039

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	地域住民	地域住民	地域住民
受益者数	20,889	19,701	19,385
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	198	193	157

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講座数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	106	106	106	
実績値	74	178	199	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	講座延べ参加者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	2,452	2,452	2,452	
実績値	909	1,918	2,558	
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	豊かな人間関係を育み、地域コミュニティを促進することが設置目的である。 人権に関する市民意識について、人権問題への高い水準を維持するためには、市が人権教育・啓発を推進する必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市が直営で実施することにより、国からの助成も受けることができる。 人権問題や人権課題が多様化、複雑化していることを踏まえると、市が、様々な声を聴き、どう対応すべきかを判断し、施策とすることが効果的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	地域住民の交流促進が図られており、引き続き事業を実施することで、高い水準での理解を維持される。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	地域住民の交流促進という事業目的に沿ったものであり、公平性を欠くものではない。その上で、目標値に比べ利用者が少ないことから、利用者を増やす取組の検討とともに、受益者が限定的になっていることはないか、受益者負担は適正であるか等検証する。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	様々な講座等を通して、地域住民の交流を促進することで、偏見や差別の解消をめざしてきた。市が直営で実施することで、国からの助成があり、県からの助成もあり、継続して実施していく事業である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060080 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	シビックプライド事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	令和3年度に岐阜の魅力を集めた情報拠点としてメディアコスモス1階にシビックプライドプレイスを開設。シビックプライドに関連した様々な事業を展開するとともに、市民の方々と協働でシビックプライドプレイスのコンテンツを充実させることにより、市民のシビックプライドの醸成を図る。					
内容 (手段・手法など)	シビックプライドギャザリング メディコス編集講座 シビックプライドプレイスディスプレイ事業 ティーンエイジのための表現講座					
事業の 対象	何を	岐阜の魅力を再発見するイベントの開催や、魅力を収集・発信する担い手の育成、そしてシビックプライドプレイスを市民と共に装飾するなど、市民がそれぞれにシビックプライドを感じるきっかけをつくる。				
	誰に	市民				
	どのくらい	シビックプライドギャザリングを3回実施 メディコス編集講座を6回実施 シビックプライドプレイスディスプレイ事業を2回実施 ティーンエイジのための表現講座を3回実施				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	シビックプライドディスプレイ事業を4回 2回へ変更					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	16,536	520	16,744	520
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	16,536	520	16,744	520

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	0	1,880	550
	旅費	0	138	1
	委託料・印刷製本費	0	0	1,053
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	2,018	1,604

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	18,554	18,348

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	1,009	775
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	1,009	775

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	17,545	17,573

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者		イベント等参加者	イベント等参加者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	イベント開催数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	16	14	
実績値	-	16	11	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来館者の増加		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	1,200,000	1,200,000	
実績値	-	1,171,909	1,317,676	
達成状況		× (未達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	日常では得られない情報を得たり、情報を発信するスキルを身に付けることができる。 シビックプライドというテーマで事業を紐づけ、包括的に運営することによって相乗効果を高めると共に、担い手のコミュニティ育成を支える観点からも、市が主体的に関わることが望ましい。 類似の事業は無い。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の経費で実施している。 メディコス編集講座とシビックプライドディスプレイ事業においては適切な受益者負担を求めると共に、イベントの講師については地元有識者に協力を仰ぐなど、市民と共に事業を作り上げている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	シビックプライドギャザリングへの申込は概ね定員に達し、参加者アンケートからは満足度の高さが伺えた。また、メディコス編集講座の修了生によって、シビックプライドプレイスのコンテンツが継続的に追加されており、シビックプライドの醸成に一定の効果が得られている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	有料としているメディコス編集講座に関しては、文章スキルのみを高める民間の講座と比較しても安価であり、受益者に過度な負担を強いてはいない。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	各イベントの集客は順調に進み、アンケート結果では参加者の満足度も高い。次年度以降も事業を継続すると共に、現状のプログラムを踏襲するだけでなく、参加者のニーズや時代の流れを意識したフレキシブルな企画・運営を進めることで、市民のシビックプライド醸成を図る。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060080 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	みんなの森 ぎふメディアコスモスの季刊紙発行					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	シビックプライドセンターとしてのメディアコスモスが、全館的観点から、施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿を生き生きと伝える広報メディア(季刊紙)を発行する。					
内容 (手段・手法など)	季刊紙(メディコス文化道)の発行 紙面構成:メディコスに集う面々の紹介や近隣のスポット情報を主軸 発行回数:年4回					
事業の 対象	何を	施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿				
	誰に	市民、岐阜市来訪者				
	どのくらい	年4回発行				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		2,138	2,101	2,091
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託費	1,600	1,600	1,600
	印刷製本費	538	501	491
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,138	2,101	2,091

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	5,368	5,281	5,311

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	1,069	1,050	1,045
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	1,069	1,050	1,045

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	4,299	4,231	4,266

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	季刊紙読者	季刊紙読者	季刊紙読者
受益者数	20,000	20,000	20,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	215	212	213

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	発行回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	4		4	4
実績値	4		4	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来館者の増加		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
実績値	819,999	1,171,909	1,317,676	
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民活動団体やメディアコスモスで活動する人々の様子を伝えること により、市民活動が活発になる。 メディアコスモスやメディアコスモスで活動する団体・人々の紹介は市 が主体的に行うことが必要である。 メディアコスモスに特化した唯一の紙媒体の広報である。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	最小限の経費で実施している。 現在は取材や編集を企業に業務委託しているが、将来的に「メディ コス編集講座」修了生が取材の一部を担い、市民協働で編集していく ことも検討を進めるとともに、最適な発行回数を見直しを図っている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	各号5,000部作成・配架しているが、ほぼ在庫がなくなっている。市民 からの関心も高く、まち情報に関しては、周辺店舗から掲載の依頼も多 くある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	市内10か所以上で配架し、メディアコスモス館内でも多くの来館者の 目に留まる位置に配架することにより、広く周知している。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	拡充	年間4回、定期的に発行することで、新たなメディアコスモスファン、応 援団、ボランティアを増やすことにつなげるとともに、すでに関わりを持 ち協働して来たボランティアやNPO団体のメディアコスモスへの理解、 シビックプライドへの認識がさらに深まる。また、視察団体や関連外部 企業、新規移住者、流入する学生への広報効果も期待できる。ひいて は市の関係人口増につながる広報ツールとしての役割を担うものであ るため、より良いメディアとして拡充を図っていく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060080 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	メディコス「文化の広場」交流事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	みんなの森 ぎふメディアコスモス 自主事業実行委員会	
開始・終了年度	令和	3	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	メディアコスモスの文化的資源(本、資料、ボランティア、NPOネットワーク)を駆使した、広場としての場の魅力を屋外で日常的に体感できる市民協働市を定期開催する。メディアコスモスが外の広場へと領域を広げ、市民団体と市民との交流ポイントを屋外に生み出すことも大きな目的である。					
内容 (手段・手法など)	広場で文化のマルシェ、クラフト市など 市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」 正月イベント ハーブガーデン講座					
事業の 対象	何を	広場としての場の魅力を屋外で日常的に体感できる市民協働市				
	誰に	市民				
	どのくらい	広場で文化のマルシェ、クラフト市などを2回実施		市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」を1回実施		正月イベントを1回実施
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	ハーブガーデン講座を5回実施					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,690	300	9,540	300	9,660	300
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,690	300	9,540	300	9,660	300

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	1,195	3,186	2,222
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,195	3,186	2,222

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	10,885	12,726	11,882

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	524	1,593	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	524	1,593	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	10,361	11,133	11,882

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	イベント参加者	イベント参加者	イベント参加者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	イベント開催数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	6	9	9	
実績値	5	9	9	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来館者の増加		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
実績値	819,999	1,171,909	1,317,676	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統合はできるか 【1】【2】から	高	市民活動団体の活動の場の提供により、多様な市民交流の促進が図られる。 単なるイベント開催を超えた市民、ボランティア、NPOネットワーク間はもちろん、柳ヶ瀬商店街を含めた新たな信頼の関係が生まれ、自主的、自発的な新たなテーマコミュニティが育っていくことにつながることから、市での開催が望ましい。 ぎふメディアコスモスを拠点に、複数団体が協力して通年の活用を計画する事業は他にない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民活動団体等の協力のもと最小限の経費で実施している。 ぎふメディアコスモスが位置する司町及び中心市街地の賑わい創出に寄与する団体を構成員とすることで、民間との効果的な連携を進めている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも、安全な事業運営を実施し、7月の周年イベントにおいては、1日平均来館者数の2倍を超える7,000名以上が連日来館した。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	市民の誰もが参加できるイベントとするとともに、広報紙やホームページを活用して広く周知している。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	開館から8年が経ち、メディアコスモスの広場も新たな賑わいが生まれた。実行委員会の構成団体との連携や協力体制をさらに強化することによって、今後も年間100万人以上の来館者数を持続するとともに、中心市街地の賑わい創出に寄与していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	図書館利用推進事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	33	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	図書館法

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民が心豊かで文化的な生活を送るため、読書推進を図るとともに学習を支援する					
内容 (手段・手法など)	図書館資料の閲覧や貸出事業、レファレンス事業及び住民の学習支援のための蔵書の充実、読書推進のための各種行事の開催					
事業の 対象	何を	図書館資料や情報				
	誰に	岐阜市民及び市内在勤、在学者				
	どのくらい	図書館資料の充実				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	176,358	5,460	173,628	5,460	192,556	5,980
パートタイム会計年度任用職員A	164,697	15,990	161,499	15,990	161,499	15,990
パートタイム会計年度任用職員B	21,182	4,413	20,475	4,095	22,277	4,284
計(A)	362,237	25,863	355,602	25,545	376,332	26,254

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	図書購入費	76,908	70,372	76,049
	雑誌等購入費	12,720	12,835	12,971
	施設管理	71,415	71,252	71,260
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		177,756	171,182	177,050

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	539,993	526,784	553,382

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	1	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	6,518	3,190	3,028
計(F)	6,518	3,191	3,028

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	533,475	523,593	550,354

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	利用者	利用者	利用者
受益者数	688,512	843,975	880,782
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	775	620	625

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	蔵書数		単位	冊
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	880,000	900,000	920,000	
実績値	876,225	890,552	906,326	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	貸出数		単位	千冊
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	2,500	2,500	2,500	
実績値	1,976	2,404	2,431	
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	図書館は学習や情報基盤の拠点として、広く市民等に利用される施設である。 市民等の身近な生涯学習施設として不可欠である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	学校連携事業や、近隣市町村との相互協力を実施し、図書館の利用を推進する。 地域ボランティアや協議会等と協働して、各種事業を実施する。また、委託により効率的に事業実施が可能なものは積極的に委託し、円滑に図書館を運営する。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用者数、貸出数はもどりつつある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	あらゆる世代の利用者に満足していただけるような図書資料の選書と収集に努めている。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	地域住民の生涯学習を推進する拠点として、広く住民等に利用される施設を目指し、多様なニーズに応えられる手厚いサービスを提供する。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	読書活動推進事業補助金					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市読書サークル協議会	
開始・終了年度	昭和	49	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	文学講座を継続させることで、市域における住民の読書活動及び生涯学習の推進を図る。					
内容 (手段・手法など)	読書活動、生涯学習の機会を創出する文学講座の実施に対し補助を行う。					
事業の 対象	何を	協議会の実施する文学講座に対する支援				
	誰に	岐阜市読書サークル協議会				
	どのくらい	協議会が実施する講座に必要な経費の一部				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	452	14	445	14	451	14
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	452	14	445	14	451	14

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		103	103	103
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	事業補助金	103	103	103
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		103	103	103

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	555	548	554

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	555	548	554

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	講座受講者	講座受講者	講座受講者
受益者数	184	182	199
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,017	3,012	2,783

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講座実施回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	36	36	36	
実績値	32	36	33	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	講座参加者数(延べ)		単位	任
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	2,580	2,580	2,340	
実績値	1,305	1,716	1,748	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	生涯学習の機会を提供し、読書普及活動となる文学講座の開催に対して支援を行うことは図書館の役割である。 市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公立図書館が実施すべき施策である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館と連携した事業として実施しており、広く受益者の利益となっている。 読書サークル協議会と協働することにより、効率的な事業の運営が行われている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	市内全域を対象として受益者を募っており、広域的な読書活動の普及が行われている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	生涯学習の手段を提供し、市内から広く受講者を募って講座を開催している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民の読書活動を支援し、生涯学習の機会の提供を続けるために文学講座の普及を図っていく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	コミセン巡回図書館					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		図書館	
実施方法	その他	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 27 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画			

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域における図書館サービスの拡大・充実を図るため、コミュニティセンターにおける図書館サービスを実施する。					
内容 (手段・手法など)	図書室のないコミュニティセンター(5箇所)への巡回による本の貸出、返却及び予約図書の受け渡し。巡回時に予約本を受け取れなかった利用者への窓口業務等をコミュニティセンターの指定管理者への委託。					
事業の 対象	何を	市立図書館資料				
	誰に	市民				
	どのくらい	図書資料の充実と利用者数の増加				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	3,832	372	4,545	450	4,545	450
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,832	372	4,545	450	4,545	450

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		1,822	1,822	1,822
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	1,822	1,822	1,822
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		1,822	1,822	1,822

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	5,654	6,367	6,367

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	5,654	6,367	6,367

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	利用者	利用者	利用者
受益者数	5,641	7,490	7,937
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,002	850	802

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	巡回実施数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	242	228	230	
実績値	186	225	225	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	貸出数		単位	冊
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	9,500	9,500	9,500	
実績値	10,277	13,621	14,051	
達成状況	(達成)	(達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	図書館の利用が困難な市民に等しく図書館サービスを提供する当該 事業は市が実施すべきである。 図書館の利用が困難な高齢者や障がい者、交通弱者などに等しく図 書館サービスを提供することは必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館から遠い地域での図書の貸出サービスの向上のためには、地 域に密着しているコミュニティセンターとの連携が必要であり、また、巡 回時間以外におけるコミュニティセンターでの予約本の受取りにより、 市民へのサービスが向上しており、効果があると思われる。 コミュニティセンターは指定管理者で、連携して市民サービスを実施で きる状況であり、サービス内容・時間・費用等を勘案しても効率的で妥 当である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	利用者の更なる増加と資料充実を図る
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	図書館の利用が困難な高齢者や障がい者、交通弱者などに等しく図 書館サービスを提供することは必要である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	図書館機能の一部として、予約本の受取りやブックポストの利用が市 民に定着してきており、今後も継続していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 004

## 【1.基本情報】

事業名	乳幼児読み聞かせ事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	15	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	子どもの健やかな成長を願って、乳幼児から絵本を介して日常的に親子のふれあいを深めてもらおうという、子どもの読書活動、子どもの健全育成、地域による子育て支援を積極的に推進し、心豊かな社会を実現する。					
内容 (手段・手法など)	南・中・北の3保健センターの10ヶ月健康診査時に、受診する親子に対して、図書館と市民ボランティアとの連携により、読み聞かせの大切さをPRし、図書館の本を貸し出す。全国に広まるブックスタート事業と同様の趣旨のもとに展開している。					
事業の 対象	何を	赤ちゃん絵本と離乳食などの育児支援に関する本の貸出・乳幼児期の読み聞かせの大切さの啓発				
	誰に	乳幼児とその親				
	どのくらい	岐阜市内の10ヶ月児全員				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館内のみで制限して実施していたが、コロナ過が終了し令和5年6月以降は、通常の内容に戻し実施した。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	162	5	350	11	2,029	63
パートタイム会計年度任用職員A	52	5	111	11	636	63
パートタイム会計年度任用職員B	24	5	55	11	328	63
計(A)	237	15	516	33	2,993	189

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	絵本購入	637	635	738
	ボランティア経費	0	0	0
	消耗品	60	110	103
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		697	745	841

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	934	1,261	3,834

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	934	1,261	3,834

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	乳幼児とその親	乳幼児とその親	乳幼児とその親
受益者数	51	121	2,126
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	18,314	10,421	1,803

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	乳幼児読み聞かせ(絵本といっしょ)事業による新規利用登録者		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	22	24	280	
実績値	14	43	420	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	絵本といっしょ事業による貸出数		単位	冊
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1,400	1,400	1,000	
実績値	107	232	430	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	親子のふれあいや子どもの読書活動の推進は、行政として積極的に 取り組んでいく施策である。 親子のふれあいと図書館利用の機会づくりであり、地域に密着した市 の図書館が実施するのが妥当である。 保健センターで実施することにより、本に興味がない方も含めて読書 活動を啓発することができ、類似の事業は他にはない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	保健センターと図書館とが連携して、子育て支援や子どもの読書活動 の推進のための施策として実施することにより、子どもの健全育成と心 豊かな社会の実現につながる。 意欲あるボランティアの参画、協力を得て事業を実施する手法は妥当 である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	乳幼児の頃から、親子がふれあう機会として、絵本の読み聞かせを推 進してきた。親子が時間を共有し、コミュニケーションができる手段とし て有効であり、乳幼児を持つ保護者が興味を持ってきている。図書館 へのおはなし会の参加にも効果がある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	10ヶ月健診は乳幼児のほとんどが受診しているため、保健センターの 協力を得て、PRできている。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	絵本を通して親子のコミュニケーションに活用できることを伝え、図書 館を活用して絵本を借りたりおはなし会に参加する意識を広めていく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	ビジネス支援事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	27	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	中心市街地活性化基本計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	図書館の情報提供機能を生かしてビジネスに関する情報を収集・提供することで図書館の利用を促進するとともに、他部署・他機関との連携を通して地域の商工業の活性化を図る。					
内容 (手段・手法など)	ビジネスチャレンジ支援相談窓口の設置、ビジネス支援セミナーの実施、ビジネス関連情報の提供					
事業の 対象	何を	図書などの資料によるビジネスに有益な情報提供と支援機関への橋渡し				
	誰に	岐阜市民及び図書館利用者				
	どのくらい	週2回の相談窓口、年2回のセミナー、年1回の資金相談会、通年でビジネス情報展示				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	129	4	254	8	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	1,133	110	1,111	110	1,131	112
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,262	114	1,365	118	1,453	122

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	5	70	90
	消耗品	42	58	62
	会場使用料	9	18	10
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
計(D)=B+C		56	154	168

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,318	1,519	1,621

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,318	1,519	1,621

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	323	322	584
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,081	4,719	2,776

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ビジネス支援セミナー及び相談会の回数			単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	97	101	104		
実績値	80	97	103		

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	相談者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	360	360	360	
実績値	314	281	542	
達成状況	× (未達成)		× (未達成)	
			(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	図書館の情報提供機能を生かしてビジネスに関する情報を収集・提供 することで市民の相談ニーズに応えている。 地域の実情に合わせて実施するため市が担う必要がある。 図書館の資料を活かしたビジネス相談事業であり、類似の事業はな い。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	国・県・市の専門家と連携することで適正な費用で無料の相談窓口や セミナーを開催している。 相談窓口での内容を活かしたセミナーを実施し、国・県・民間と連携し た講師を起用しており妥当である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	図書館で行うビジネス相談として定着しており、相談だけでなく情報や 資料を紹介することで図書館資料の貸出につながっている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から		図書館での相談窓口やセミナーは無料であり、希望者の需要に応える ことができている。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	拡充	図書館の資料を活用したビジネス相談窓口とその相談内容を反映した セミナー等を実施することで、図書館の利用促進と地域の商工業の活 性化を図る。さらに関係団体との連携を図り、ビジネスに関する相談の 機会を増やす。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 006

## 【1.基本情報】

事業名	文学と歴史・物語のまち「岐阜」(旧:文学のまち「岐阜」)					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	18	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	図書館における所蔵資料の活用や各種関係団体との協力関係を構築し、郷土関連文学の掘り起こしを行い、幅広い年齢層に対して情報発信を進め、岐阜ゆかりの文学を伝承する。また、文学に縁のない世代が文学に親しみ未来へと続く文学のまちとなる土壌を作るための活動を行う。					
内容 (手段・手法など)	岐阜関連文学に関する講演会や文学講座、自分史講座等の開催と関連する資料の展示。小学校や団体への読み聞かせボランティアの派遣や文学に親しむ機会となるイベント等を実施					
事業の 対象	何を	岐阜の文学に関する展示や講演会等の開催				
	誰に	市民				
	どのくらい	講演会を年に1,2回開催する				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	323	10	318	10	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	515	50	505	50	505	50
パートタイム会計年度任用職員B	240	50	250	50	260	50
計(A)	1,078	110	1,073	110	1,087	110

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	40	322	40
	消耗品費	110	132	141
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		170	529	261

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,248	1,602	1,348

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,248	1,602	1,348

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	689	304	335
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,811	5,270	4,024

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	イベント実施回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	900	500	500	500
実績値	689	304	304	335
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及は市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である。 岐阜の文学や郷土の作家という市民の財産を図書館は保存、提供、活用していく役割を担っている。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	広く市民に向けて読書活動の普及に効果がある。 市民に親しみやすいイベントという形で情報提供し、協働で行うことはできる。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	幅広い年齢層への読書推進を図ることができる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	広く市民が参加しており妥当である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進のための施策として継続して実施していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 007

## 【1.基本情報】

事業名	みんなの図書館おとなの夜学					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		図書館	
実施方法	委託(NPO)	補助等の種類		実施主体	NPO法人ORGAN	
開始・終了年度	平成 27 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画			

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを図書館から発信するため、市民協働を視野に入れて、市民目線でわかりやすく伝えるための多角的・多分野な講座や展示を開催する。また、岐阜市立図書館から全国に向けて、岐阜の魅力をアピールする試みとして、WEB動画を用いて講座の様子を情報発信し、過去の講座をブックレットにする。					
内容 (手段・手法など)	岐阜の地域文化に通じた様々な分野の専門家、その道の第一人者による対談やパネルディスカッションを実施する。					
事業の対象	何を	岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを伝えるための多角的・多分野な講座や展示の開催及びWEB動画を用いて講座の様子を情報発信、およびブックレットの制作				
	誰に	一般成人・WEB動画視聴者				
	どのくらい	一般成人(会場定員) + WEB動画視聴者				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	97	3	95	3	97	3
パートタイム会計年度任用職員A	31	3	30	3	30	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	128	6	126	6	127	6

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		2,115	2,369	2,369
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	1,847	2,090	2,090
	印刷製本費	268	279	279
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,115	2,369	2,369

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	2,243	2,495	2,496

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳	令和3年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	47	52	64
計(F)	47	52	64

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,196	2,443	2,432

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	受講者	受講者	受講者
受益者数	101	112	178
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	21,741	21,810	13,662

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開催数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	6	6	6	6
実績値	5	6	6	6

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	受講者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	400	400	170	170
実績値	101	112	178	178
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民のシビックプライドの醸成のための役割を担っておりニーズに合っている。 岐阜市ならではの生活・文化等を学ぶ場であり、国・県が主体になるものではなく、まちづくりに詳しいINPOに業務を委託している。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館の人気講座となっており、費用対効果は高い。 NPOとの協働事業として実施している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	毎回、人員を確保できており、市民にとって魅力ある事業と位置付けられる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	受益者は一般成人およびWEB動画視聴者であり適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	多くの参加者が集まる人気講座として定着しており、市民のシビックプライド醸成に資する役割として今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 008

## 【1.基本情報】

事業名	子ども司書育成					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 27 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画			

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	子ども同士の関係性の中で読書文化の普及を進めるため、子ども司書としてそれぞれの学校のなかで読書推進の原動力となる子どもを育成するとともに、子どものソーシャルスキルの向上や独創性開発を図る。					
内容 (手段・手法など)	専門家を講師として招き全16回程度の子どもの司書育成講座を行う。					
事業の 対象	何を	子どもの司書養成講座の開催及び認定				
	誰に	小学校高学年から中学生				
	どのくらい	小学校高学年から中学生(20名程度)				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	コロナ対策で縮小していた部分を、コロナ前に戻した。定員:10名 20名、日程:2日間 4日間、対象:小学校4年~6年 小学校4年~中学校3年					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	65	2	64	2	64	2
パートタイム会計年度任用職員A	41	4	61	6	61	6
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	106	6	124	8	125	8

### (2)物にかかるコスト

		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		45	90	77
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	40	65	65
	消耗品費	5	25	12
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		45	90	77

### (3)総コスト

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	151	214	202

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳	令和3年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	151	214	202

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	小中学生	小中学生	小中学生
受益者数	10	20	19
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	15,080	10,710	10,632

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	子ども司書の派遣回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	1		1	1
実績値	0		0	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	受講応募数		単位	人
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	80		80	30
実績値	53		64	68
達成状況	× (未達成)	× (未達成)		(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	子どもの読書啓発のためには、友人同士の読書の広がり効果的である。 学校現場での読書推進リーダーの育成を目的としており、市立小中学校を管轄する岐阜市(市立図書館)が事業を行う必要がある。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	1年間に育成する司書は20人とそれほど多くはないが、その後図書館や学校での活動などにつながり効果が高い。 必要十分な講座を行っており他に効率的な方法はない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	子ども同士の関係性の中で読書文化の普及を進めるため、子ども司書としてそれぞれの学校のなかで読書推進の原動力となる子どもを育成するとともに、子どものソーシャルスキルの向上や独創性開発を図っている。 人気の高い講座であり、例年抽選となっている。修了した子どもたちがすでに活躍しており、魅力ある事業である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	受益者は小中学生であり、負担額もゼロであるため適正である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	子どもの読書推進に資するほか、子どもの社会性を育む事業として、今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 009

## 【1.基本情報】

事業名	子どもラジオ放送					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	28	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	平成27年度より養成している子ども司書に情報発信の場を与え、情報発信の手法やその面白さをラジオ放送のための企画会議や自らが実際の放送を行うことにより、子どもたちに楽しみながら学んでもらい、自発的な意思を育成していく。このような情報発信力を醸成することで子ども司書の活躍の場を学校図書館にも広げていくことを目指す。	
内容 (手段・手法など)	子ども司書が企画会議を経て、番組を作成。自らがパーソナリティとなり、ラジオ収録を行い館内やFMわっちで放送を行う。なお、本事業はぎふメディアコスモスで事業展開している「てにておラジオ」と連携している。	
事業の 対象	何を	子ども司書によるラジオ放送を活用した情報発信
	誰に	子ども司書(小学生高学年から中学生)
	どのくらい	小学生高学年から中学生(40人程度)
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	388	12	382	12	386	12
パートタイム会計年度任用職員A	247	24	242	24	242	24
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	635	36	624	36	629	36

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	125	125	125
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		125	125	125

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	760	749	754

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	760	749	754

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	小中学生	小中学生	小中学生
受益者数	20	20	19
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	37,990	37,450	39,674

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ラジオ放送収録回数			単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	12	12	12		12
実績値	12	12	12		12

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	子ども司書養成講座の応募者数			単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標値	80	80	30		30
実績値	53	64	68		68
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	(達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	子ども司書講座を修了した子どもたちの活動の場であり、国、県が主体になるものではない。 学校現場での読書推進リーダーの育成を目的としているため、市立小中学校を管轄する岐阜市(市立図書館)が事業を行う必要がある。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	子ども司書講座修了の子どもたちが活動する場であるため、効率的な事業である。 当該事業は子どもたちと市民団体との協働を基本趣旨としている。メディアコスモスにて公開放送を行う市民ラジオ「てにておラジオ」への業務委託を行っている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	子ども司書に情報発信の場を与え、情報発信の手法やその面白さをラジオ放送のための企画会議や自らが実際の放送を行うことにより、子どもたちに楽しみながら自発的な学びあいを通して、表現力・創造力を育成していく。このような情報発信力を醸成することで子ども司書の活躍の場を学校図書館にも広がることを期待している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	子ども司書は、公募にて募集しており、受益者として適正である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	子どもの情報発信力を高め、活躍の場を与える事業として、今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 010

## 【1.基本情報】

事業名	作家と語ろうin岐阜(旧著者に会いたい)事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		図書館	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体 岐阜市	
開始・終了年度	平成	28	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民に作家の作品の魅力を伝え、作品への興味を持ち読書に親しむことの大切さを啓発する。					
内容 (手段・手法など)	普段、作品を通じてしか接することのできない作家を招いて語ってもらうことにより、作家の作品のみならず作家自身の魅力に触れる機会を作る。作家を知り、作品の理解を深め、興味を持つきっかけとなるようなイベントを行う。					
事業の 対象	何を	作家の講演会				
	誰に	市民				
	どのくらい	年に1回				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	162	5	159	5	161	5
パートタイム会計年度任用職員A	103	10	101	10	101	10
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	265	15	260	15	262	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		224	224	324
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	200	200	300
	旅費	23	23	24
	食糧費	1	1	1
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		224	224	324

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	489	484	586

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	489	484	586

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	160	255	262
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,053	1,898	2,237

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開催回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	500	500	500	500
実績値	160	255	255	262
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公共図書館が実施すべき施策である。 市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	作家の話を通じて読書活動に興味を持ってもらい、読書活動の普及や 生涯学習の推進に効果がある。 市民の参加が可能な場面であれば協働で行うことは可能。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	市民の事業への参加が読書活動につながり、読書の普及に期待できる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	多くの市民が参加しており妥当である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	拡充	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進のための施策として継続して実施していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 011

## 【1.基本情報】

事業名	図書館発！まちづくり事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		図書館	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体 岐阜市	
開始・終了年度	平成	29	年度～	年度	根拠法令・関連計画 中心市街地活性化基本計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本棚のあるまちづくりを推進するため、市民を対象とした講座を行ったり、市民文庫を中心市街地に設置するなどし、本を媒介に人と人がつながる場をつくることを目的とする。	
内容 (手段・手法など)	図書館が商店街の中に本棚を置いて定期的に特集展示を行ったり、お店などに本棚を置きたいと考えている店主を対象に本のある空間づくりをテーマとした講座を行い、本を通じて人と出会い、本を交換しながら人を繋いでいく活動を市民に推進していく。	
事業の対象	何を	専門家を講師として
	誰に	一般市民
	どのくらい	ライブラリアン養成講座 年1回 特集展示年6回
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)	まちライブラリアン養成講座を柳ヶ瀬Rテラスで開催した。メディアコスモスのイベント「秋のゆったりカルチャーマルシェ」において、まちライブラリー@メディアコスモスを設置し、訪れた人にまちライブラリーの活動を知ってもらう機会を提供した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	97	3	95	3	97	3
パートタイム会計年度任用職員A	31	3	30	3	30	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	128	6	126	6	127	6

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		66	84	93
直接事業費の主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	0	84	93
	消耗品・備品	66	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		66	84	93

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	194	210	220

## 【4.収入】

	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	194	210	220

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	一般市民	一般市民	一般市民
受益者数	0	21	13
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	9,986	16,915

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講座回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	0	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	講座参加者		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	50	50	20	20
実績値	-	21	13	13
達成状況		× (未達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	本を媒介とした市民のコミュニケーションを目的としており、ニーズに合っていると考えられる。 地域に密着した図書館として、市が担う必要があると考えられる。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	多くの市民が本と出会う場の創出につながるものとして費用対効果は適正である。 本を専門とする市立図書館が主体となって行うべき事業であり他に効率的な方法はない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	人員を確保できており、アンケートに答えた参加者の多くが「満足」としている。市民にとって魅力ある事業である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	受益者は一般市民であるため適正である。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	地域に密着した図書館として存在感を高め、地域の活性化に資する事業として、今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 012

## 【1.基本情報】

事業名	本de子育てカフェ					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		図書館	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体 岐阜市	
開始・終了年度	平成	29	年度	～	年度	根拠法令・関連計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	図書館では、子育て世代の利用が増えており、子どもを育てる場として市民に受け入れられつつある。そうした中、手探りで育児に奮闘する親に、各家庭における子育てのヒントとなる情報発信を行う。					
内容 (手段・手法など)	児童、中高生などの子どもがいる親を対象に、子育て等の専門家による「本と子育て」をテーマとした講座を行う。					
事業の 対象	何を	専門家による講演会等				
	誰に	市民一般				
	どのくらい	年に2回				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	64	2
パートタイム会計年度任用職員A	31	3	30	3	61	6
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	63	4	62	4	125	8

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	100	200	200
	食糧費	1	1	1
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		101	201	201

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	164	263	326

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	164	263	326

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	一般市民	一般市民	一般市民
受益者数	45	76	73
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,649	3,462	4,466

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開催回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	2		2	2
実績値	1		2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	アンケート結果のうち、「参考になった」と回答された割合		単位	%
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	70		70	70
実績値	93		86	84
達成状況	(達成)	(達成)		(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公立図書館が実施すべき施策である。 市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である。 本を介しての子育ての支援として、類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	専門家に講師を依頼しているため内容が充実しており、また、受講者のアンケート結果では、「参考になった」と回答された割合が6～8割であり、費用対効果は高いと考える。 内容としては、専門家に講師を依頼して事業を実施する現在の方法が妥当である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	それぞれの世代の子育て層を対象とした講演を実施し、子育ての参考となるような支援をした。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	それぞれの世代の子育て層を対象とした講演を実施しており、広く市民が参加している。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本を介しての子育て支援として、今後も継続していく。

# 事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 013

## 【1.基本情報】

事業名	はじめての図書館事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	5	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	乳幼児に絵本を配布し、幼い頃から本と触れ合う機会をつくることにより、親子で本に興味を持つきっかけとなり、その後の読書活動を推進し、子どもたちの豊かな人間性を育む。					
内容 (手段・手法など)	図書館、図書室等へ来館し、利用カードを作成した乳幼児に対して、絵本を配布することにより、様々な本に興味をもってもらうきっかけとなり、図書館利用を促進する。					
事業の 対象	何を	絵本				
	誰に	市内在住の令和5年4月以降生まれ、かつ3歳の誕生日までの乳幼児				
	どのくらい	1人あたり1冊				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)						

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	225	7
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	101	10
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	326	17

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	消耗品費	0	0	2,431
	印刷製本費	0	0	201
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	2,632

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	2,958

## 【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	2,958

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者			乳幼児
受益者数	0	0	742
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	3,987

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	絵本の配布数		単位	冊
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	-	-		2,500
実績値	-	-		742

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	対象乳幼児の新規登録者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度		令和5年度
目標値	-	-		400
実績値	-	-		742
達成状況				(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	読書活動を推進し、子どもの豊かな人間性を育むため、絵本の配布により幼いころから本と触れ合う機会をつくることは行政として取り組んでいく施策である。 親子で本に興味を持つきっかけのために幼いころから本と触れ合う機会づくりとなる本事業は、公立図書館が実施すべき施策である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	絵本の配布により、親子が触れ合う機会づくり、読書活動の推進、利用者登録の増などにつながっており、効果は高いと考える。 本と触れ合う機会をつくる絵本の配布は、妥当である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	絵本の配布により、親子で読書に親しむ機会を増やし、その後の読書活動の推進につながる効果が見込まれる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	令和5年度時点で市内在住のすべての0歳児が対象であり、事業の趣旨からも適正と考える。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	幼い頃から本と触れ合い、親子で本に興味を持ってもらい、その後の読書活動の推進にもつなげるため、今後も継続していく。